

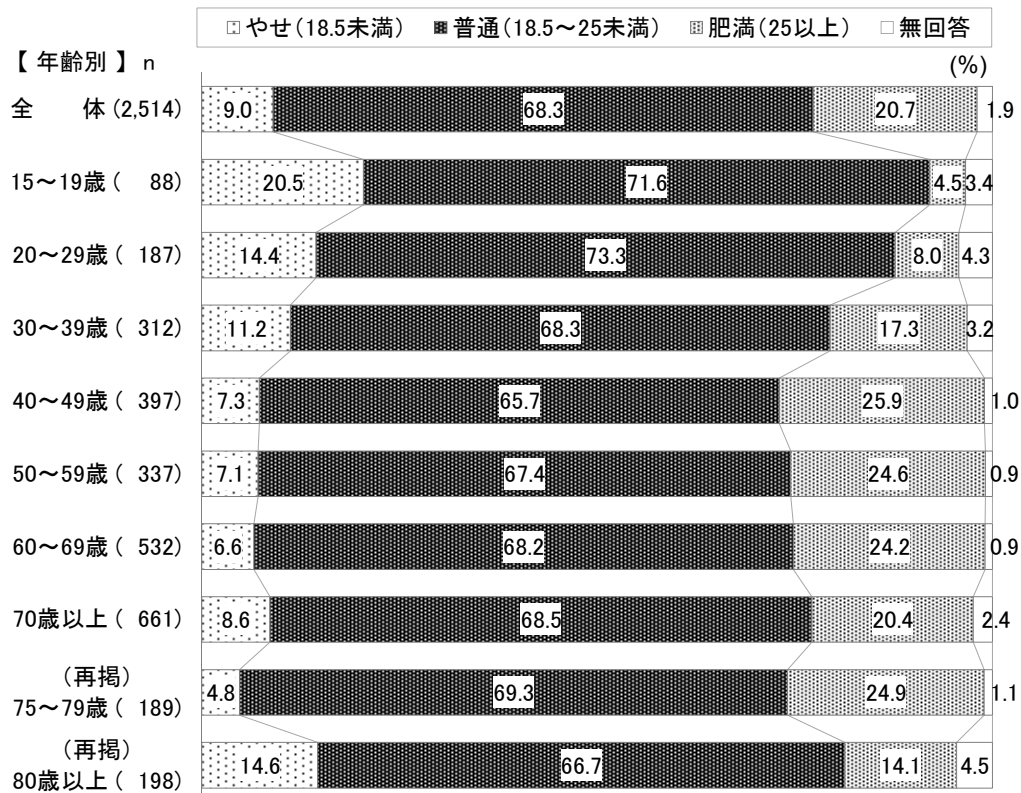
13. 設問間クロス集計データ

(1) あなたの健康

① BMI判定 (問9ア)

年齢階級別にみると、「やせ」は15～19歳が20.5%で最も高く、次いで20～29歳が14.4%、30～39歳が11.2%などの順となっている。「肥満」は40～49歳が25.9%で最も高く、次いで50～59歳が24.6%、60～69歳が24.2%などの順となっている。(図13-1-1)

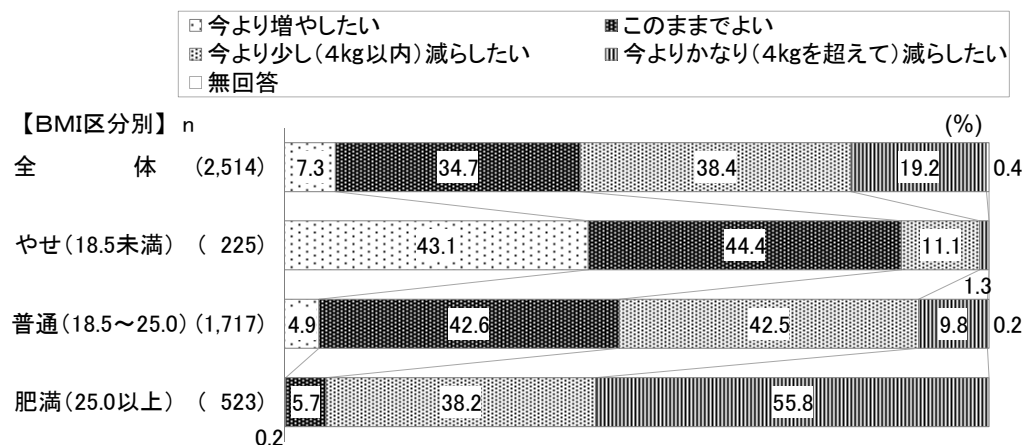
図13-1-1 BMI判定 (年齢階級別)



② 体重についての意識（問9イ）

BMI 区分別（問9ア）別にみると、「今より増やしたい」はやせで43.1%と高くなっている。「今より少し（4kg以内）減らしたい」は普通で42.5%と高く、「今よりかなり（4kg以上）減らしたい」は肥満で55.8%と高くなっている。（図13-1-2）

図13-1-2 体重についての意識（問9イ）（BMI区分別）

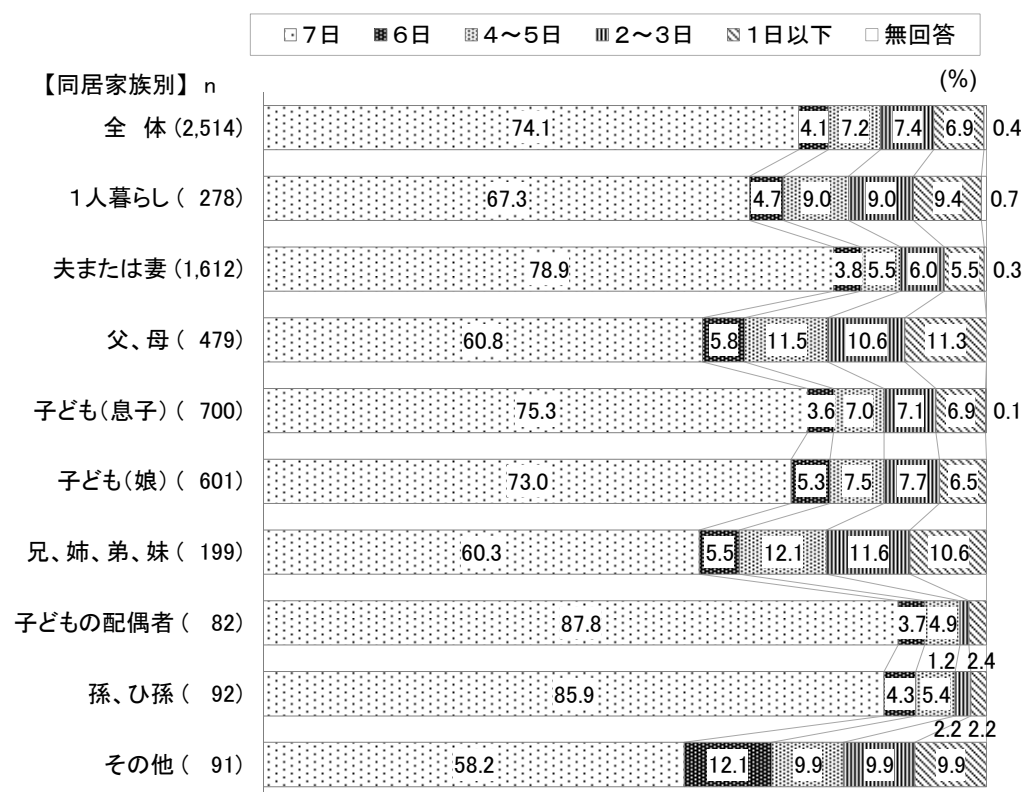


(2) 栄養・食生活

① 1週間に朝食をとる回数（問11）

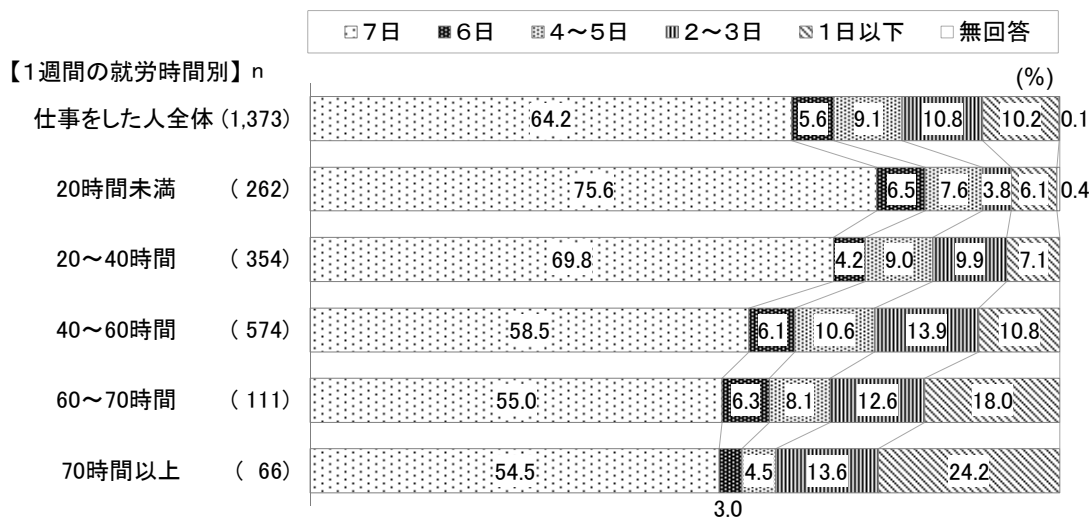
同居家族別にみると、「7日」は子どもの配偶者が同居している人で87.8%、孫、ひ孫が同居している人で85.9%と高くなっている。（図13-2-1）

図13-2-1 1週間に朝食をとる回数（同居家族別）



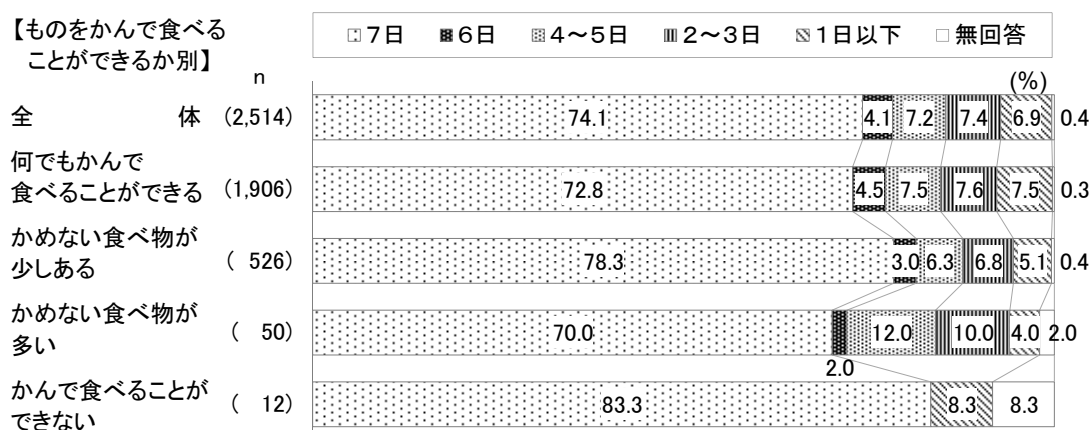
1週間の就労時間（問21-1）別にみると、勤務時間が長くなるほど朝食をとる回数が少ない人の割合が高くなる傾向にある。（図13-2-2）

図13-2-2 1週間に朝食をとる回数（1週間の就労時間別）



ものをかんで食べることができるか（問31）別にみると、かめない食べ物が多い人では、朝食をとる回数が少ない人の割合が高い傾向がみられる。（図13-2-3）

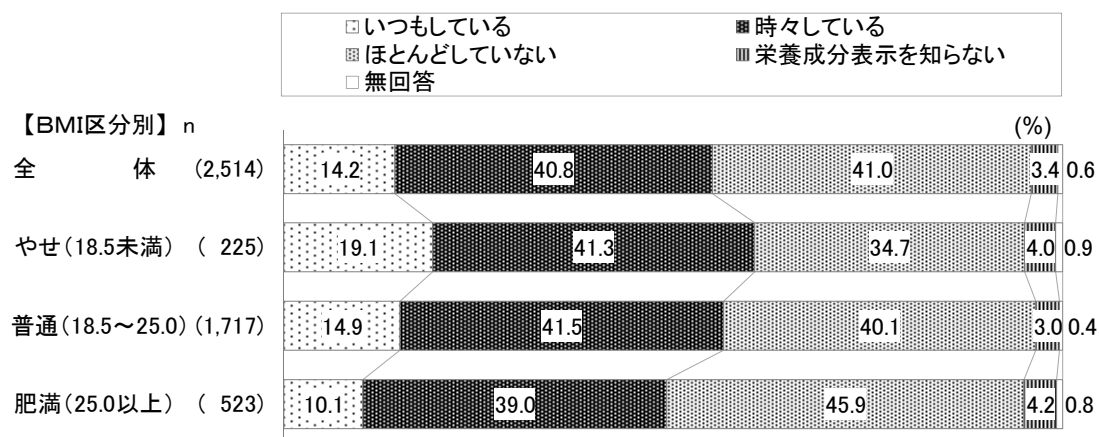
図13-2-3 1週間に朝食をとる回数（ものをかんで食べることができるか別）



② 栄養成分表示を参考にしているか（問12）

BMI区分（問9ア）別にみると、「いつもしている」はやせで19.1%と高くなっている。一方、「ほとんどしていない」は肥満で45.9%と高くなっている。（図13-2-4）

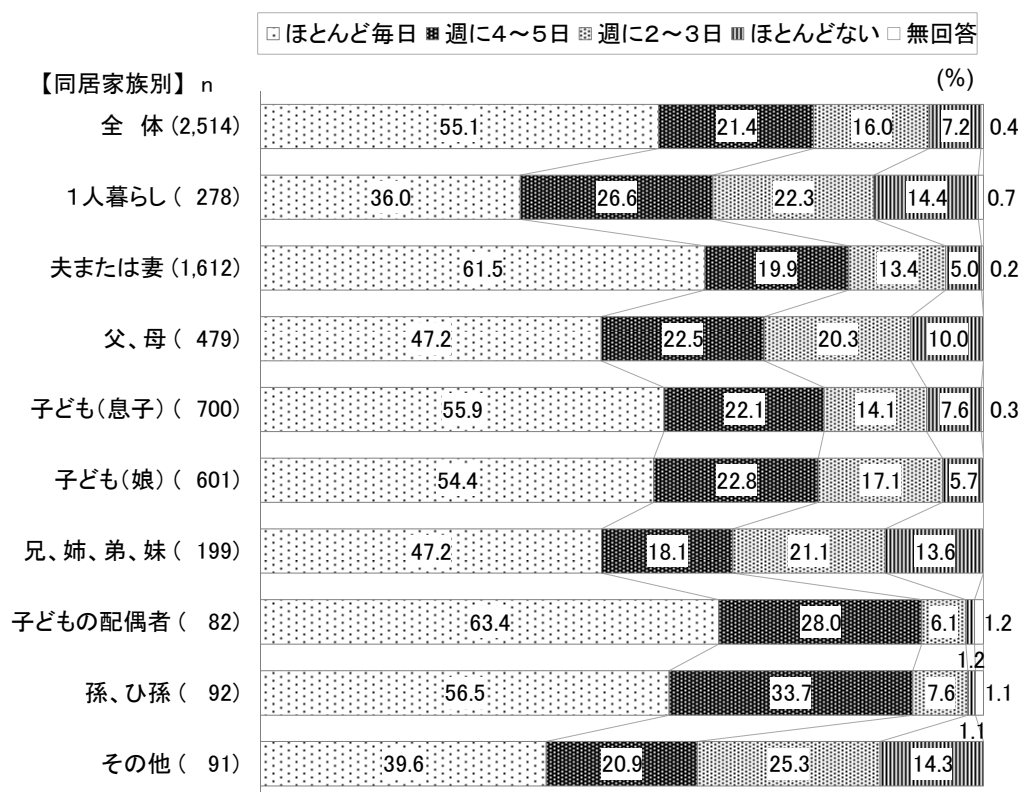
図13-2-4 栄養成分表示を参考にしているか（BMI区分別）



③ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問13）

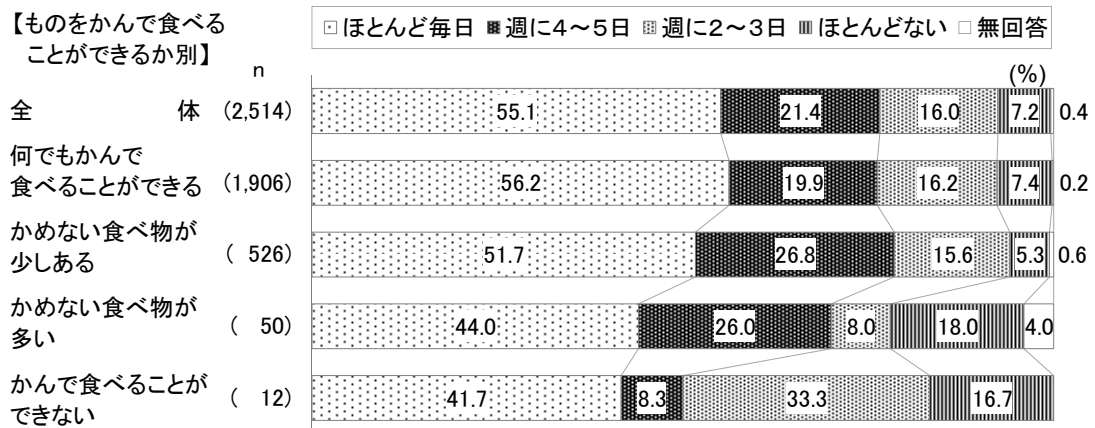
同居家族別にみると、「ほとんど毎日」は1人暮らしで36.0%となっており、同居家族がいる人に比べて低くなっている。（図13-2-5）

図13-2-5 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（同居家族別）



ものをかんで食べることができるか（問31）別にみると、「ほとんど毎日」は、何でもかんで食べることができる人で56.2%と高くなっている。一方、「ほとんどない」はかめない食べ物が多い人で18.0%、かんで食べることができない人で16.7%と高くなっている。（図13-2-6）

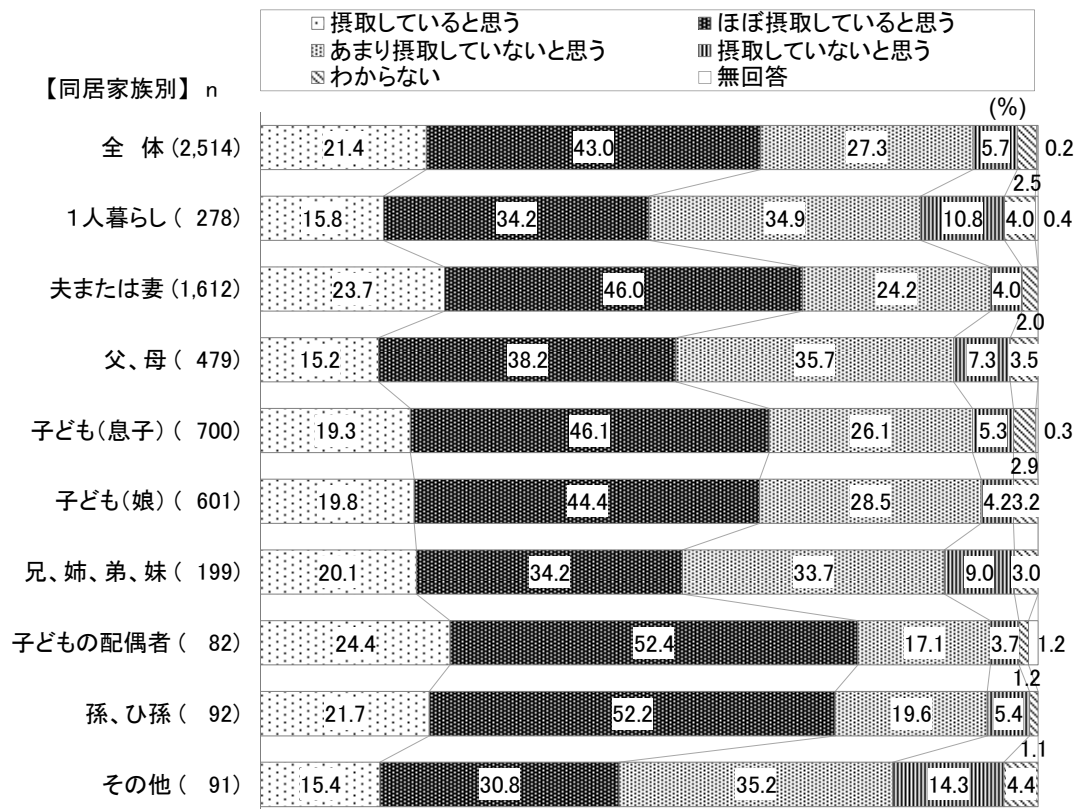
図13-2-6 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度
（ものをかんで食べることができるか別）



④ 野菜摂取についての意識（問14）

同居家族別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、1人暮らしで45.7%と高くなっている。（図13-2-7）

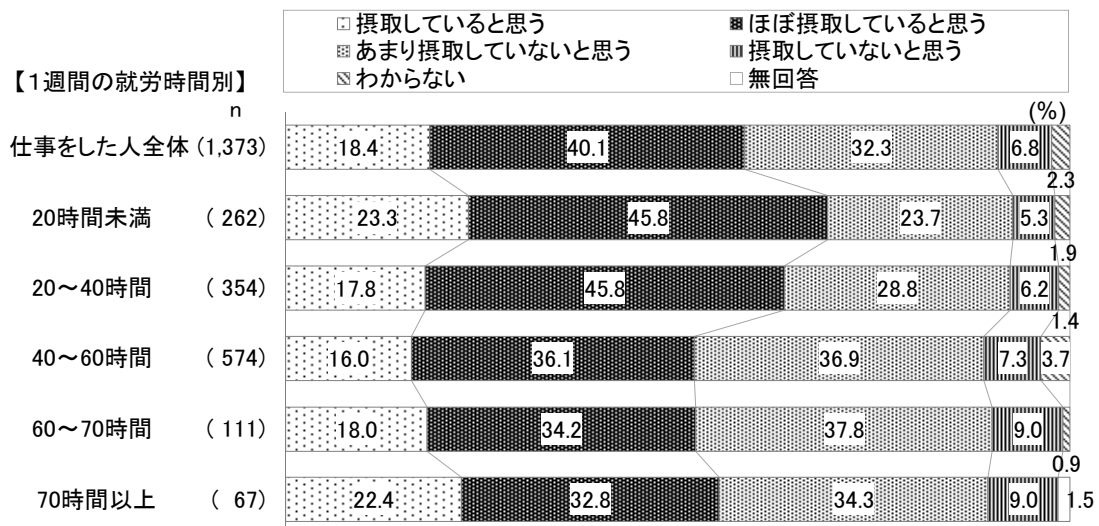
図13-2-7 野菜摂取についての意識（同居家族別）



1週間の就労時間（問21-1）別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、60～70時間で46.8%となっている。

（図13-2-8）

図13-2-8 野菜摂取についての意識（1週間の就労時間別）

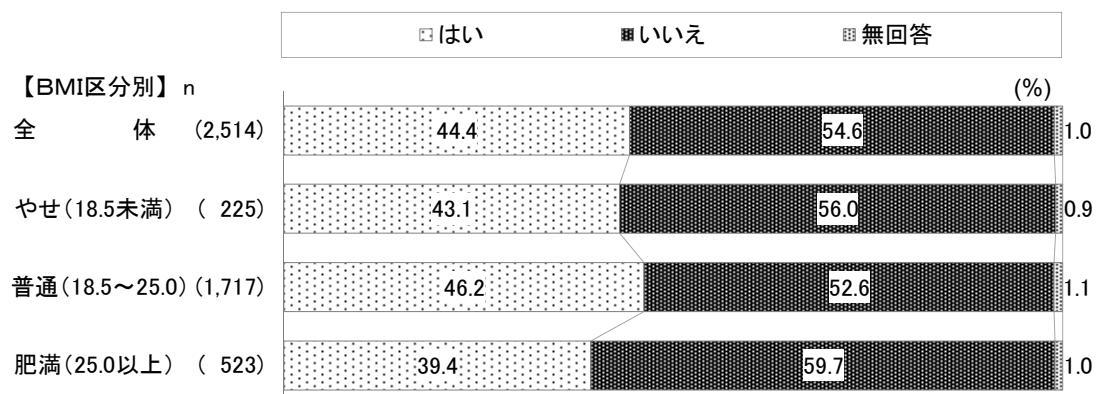


(3) 身体活動・運動

① 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況（問16）

BMI区分（問9ア）別にみると、「はい」は普通で46.2%となっており、やせ（43.1%）、肥満（39.4%）より高くなっている。（図13-3-1）

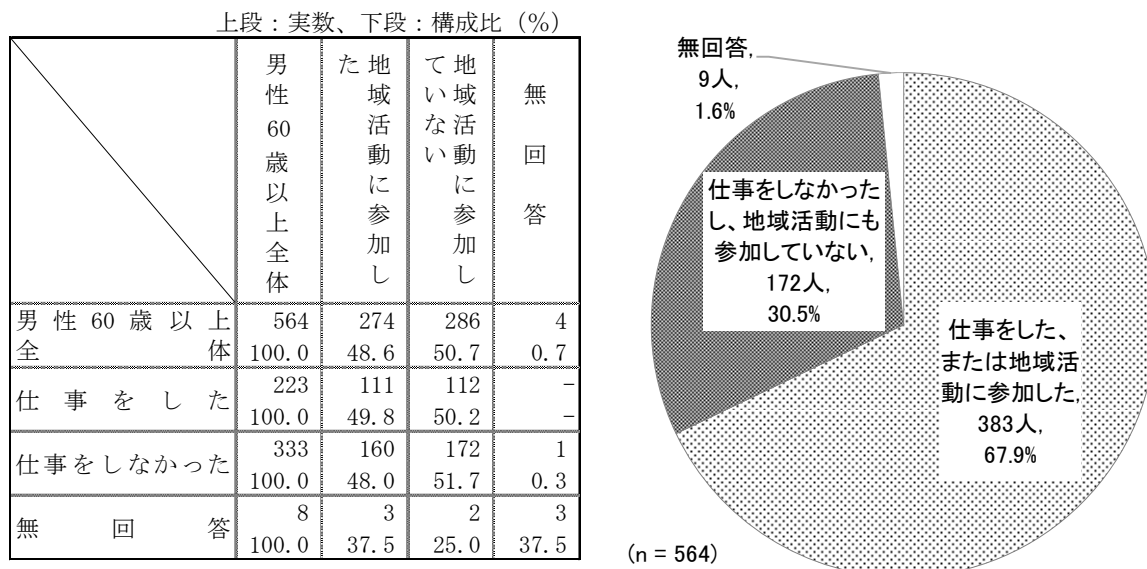
図13-3-1 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況（BMI区分別）



② 60歳以上の方の地域活動への参加状況（問17）と就労状況（問21）

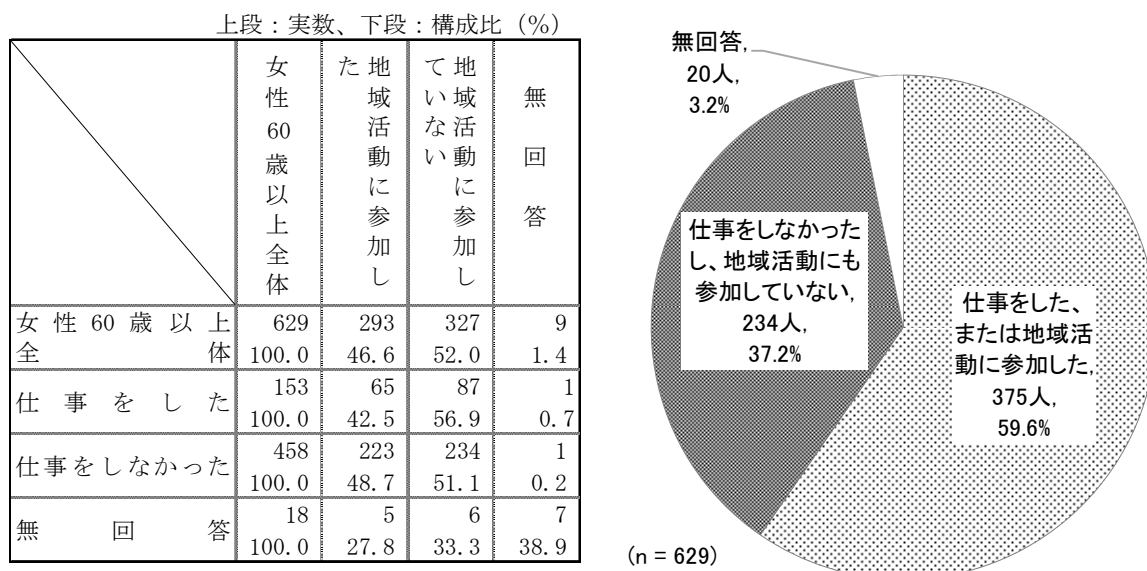
60歳以上の男性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は67.9%、どちらも行っていない人の割合は30.5%となっている。（図13-3-2）

図13-3-2 男性60歳以上の地域活動への参加状況（問17）と就労状況（問21）



60歳以上の女性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は59.6%、どちらも行っていない人の割合は37.2%となっている。（図13-3-3）

図13-3-3 女性60歳以上の地域活動への参加状況（問17）と就労状況（問21）

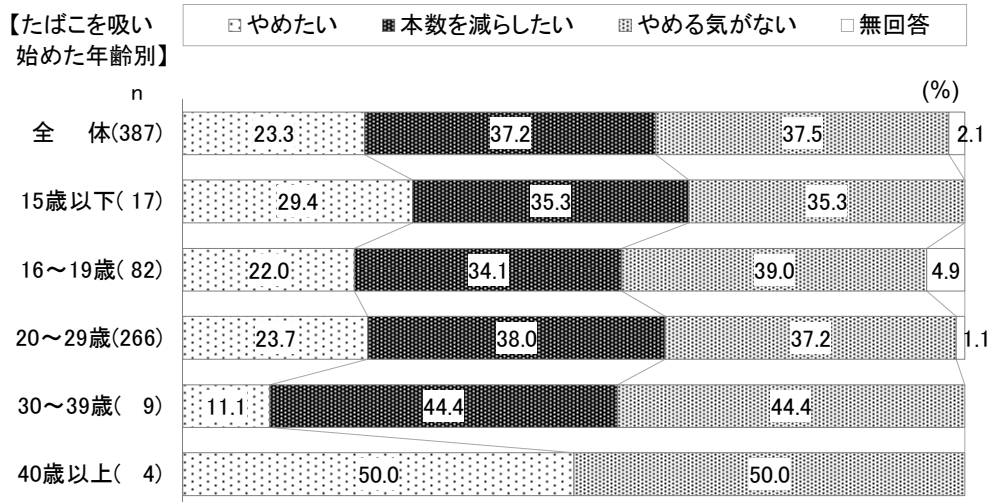


(1) たばこ

① 喫煙に対する考え (問22-2)

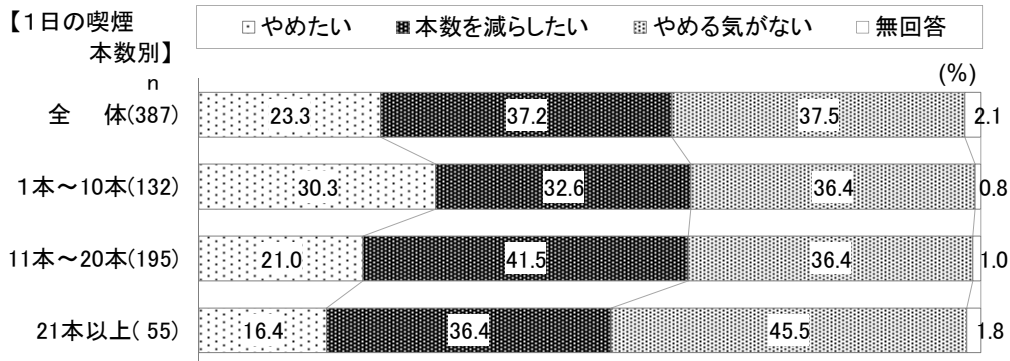
たばこを吸い始めた年齢 (問22-1) 別にみると、「やめたい」は15歳以下で29.4%となっている。(図13-4-1)

図13-4-1 喫煙に対する考え (たばこを吸い始めた年齢別)



1日の喫煙本数 (問22-3) 別にみると、「やめたい」は喫煙本数が少ない人ほど高くなっている。「やめる気がない」は21本以上で45.5%となっている。(図13-4-2)

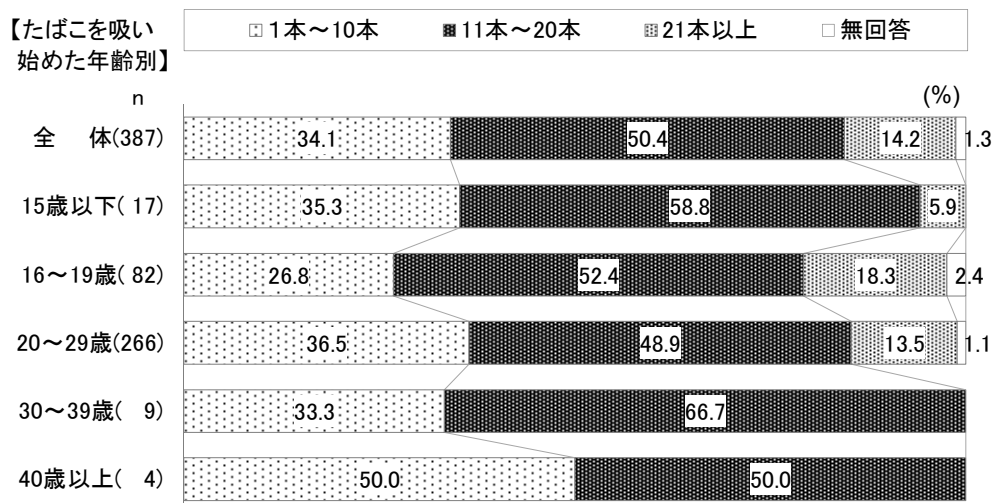
図13-4-2 喫煙に対する考え (1日の喫煙本数別)



② 1日の喫煙本数（問22-3）

たばこを吸い始めた年齢（問22-1）別にみると、「21本以上」は16～19歳で18.3%、20～29歳で13.5%となっている。（図13-4-3）

図13-4-3 1日の喫煙本数（たばこを吸い始めた年齢別）

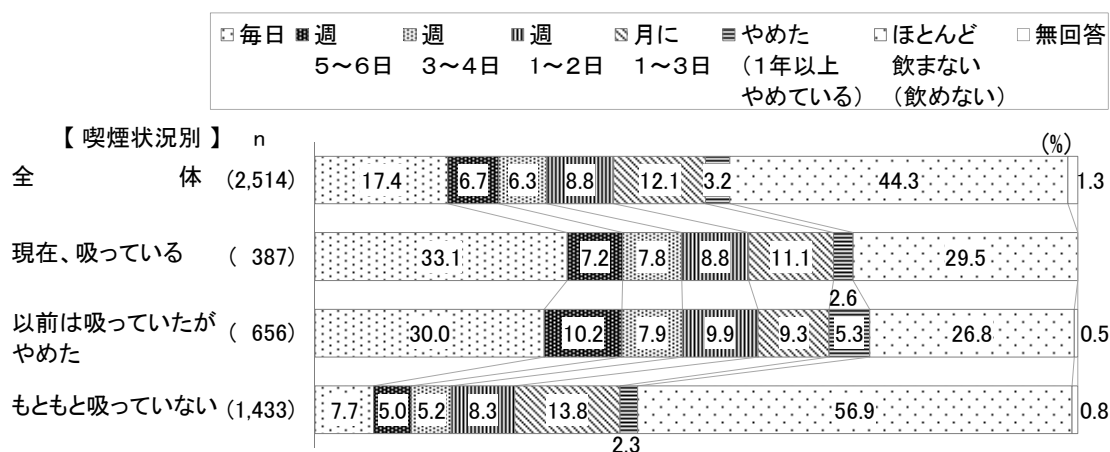


(2) お酒（アルコール）

① 飲酒状況（問23）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほとんど飲まない（飲めない）」と「やめた（1年以上やめている）」の2つを合わせた《飲まない》は、もともと吸っていない人で59.2%と高くなっている。「毎日」は現在吸っている人で33.1%、以前は吸っていたがやめた人で30.0%と高くなっている。（図13-5-1）

図13-5-1 飲酒状況（喫煙状況別）



② 飲酒状況（問23）と1日の飲酒量（問23-1）からみた飲酒量が多い人の割合

飲酒状況（問23）と1日の飲酒量（問23-1）からみた飲酒量が多い人の割合を求めた。

男性で飲酒する人（無回答者を除く776人）のうち、毎日または週5～6日で1日あたり2合以上飲酒する人、週3～4日で1日あたり3合以上飲酒する人、週1～2日または月1～3日で1日あたり5合以上飲酒する人の合計は152人（19.6%）となっている。（表13-5-1）

表13-5-1 飲酒状況（問23）と1日の飲酒量（問23-1）からみた飲酒量が多い人の割合（男性）

上段：実数、下段：構成比（%）

		男性で飲酒する人全体	1合（180ml）未満	未1合以上2合（360ml）未満	未2合以上3合（540ml）未満	未3合以上4合（720ml）未満	未4合以上5合（900ml）未満	5合（900ml）以上	無回答
			人数	人数	人数	人数	人数	人数	
（男性）	男性で飲酒する人全体	779	251	295	156	55	10	9	3
	毎日	333	94	134	76	23	4	2	-
	週5～6日	112	38	41	25	8	-	-	-
	週3～4日	94	27	38	21	5	2	1	-
	週1～2日	115	43	39	19	10	2	2	-
	月に1～3日	125	49	43	15	9	2	4	3
		100.0	32.2	37.9	20.0	7.1	1.3	1.2	0.4

女性で飲酒する人（無回答者を除く496人）のうち、毎日または週5～6日、週3～4日で1日あたり1合以上飲酒する人、週1～2日で1日あたり3合以上飲酒する人、月1～3日で日あたり5合以上飲酒する人の合計は130人（26.2%）となっている。（表13-5-2）

表13-5-2 飲酒状況（問23）と1日の飲酒量（問23-1）からみた飲酒量が多い人の割合（女性）

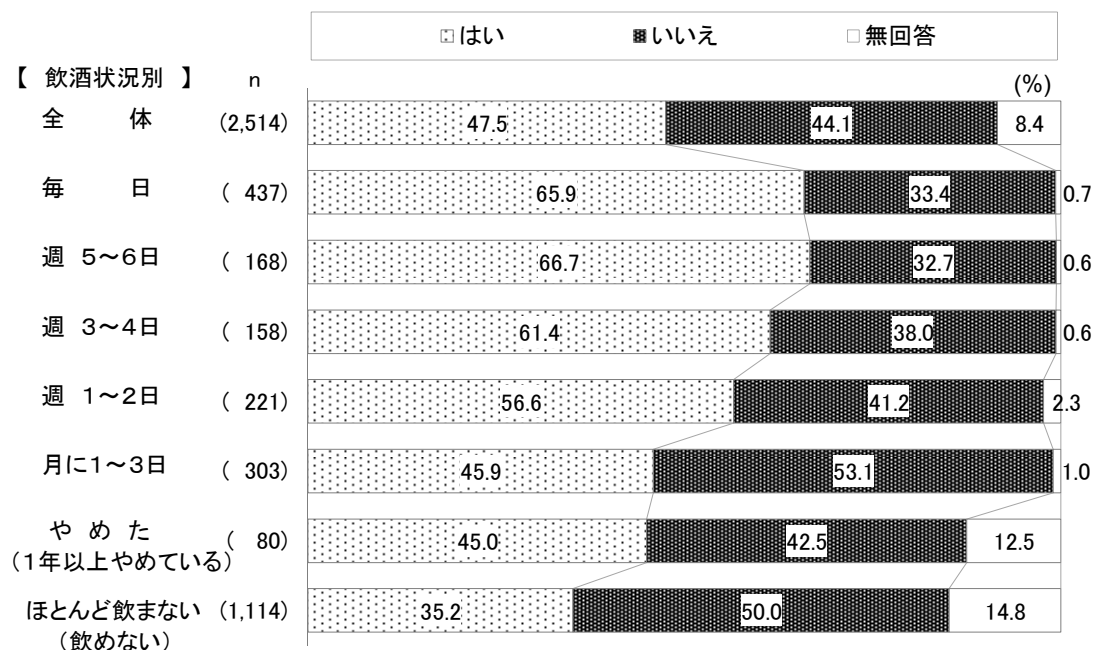
上段：実数、下段：構成比（%）

		女性で飲酒する人全体	1合（180ml）未満	未1合以上2合（360ml）未満	未2合以上3合（540ml）未満	未3合以上4合（720ml）未満	未4合以上5合（900ml）未満	5合（900ml）以上	無回答
			人数	人数	人数	人数	人数	人数	
（女性）	女性で飲酒する人全体	508	265	146	45	26	9	5	12
	毎日	104	40	42	13	6	3	-	-
	週5～6日	56	32	16	6	1	1	-	-
	週3～4日	64	32	21	3	3	2	-	3
	週1～2日	106	61	25	10	8	-	-	2
	月に1～3日	178	100	42	13	8	3	5	7
		100.0	52.2	28.74	8.9	5.1	1.8	1.0	2.4

③ 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(問24)

飲酒状況(問23)別にみると、「はい」は毎日飲酒する人で65.9%、週5～6日飲酒する人で66.7%と高くなっている。(図13-5-2)

図13-5-2 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(飲酒状況別)



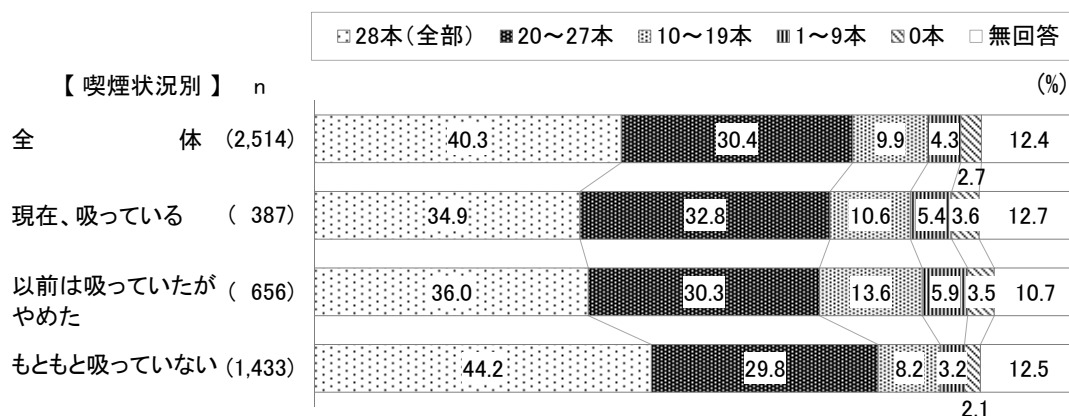
(3) 歯

① 歯の本数(問25)

喫煙状況(問22)別にみると、「28本(全部)」はもともと吸っていない人で44.2%と高くなっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。

(図13-6-1)

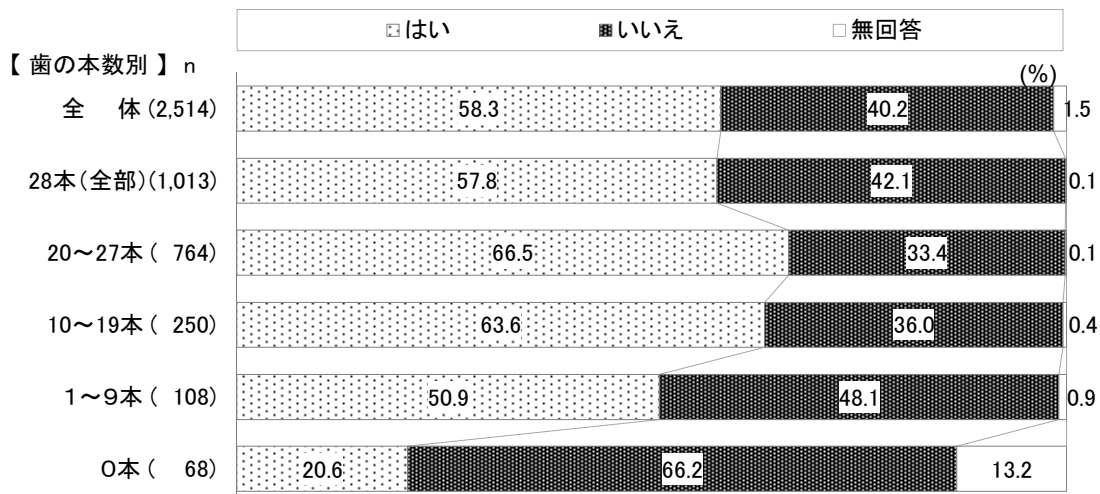
図13-6-1 歯の本数(喫煙状況別)



② 最近1年間の歯の健康診査の受診状況（問26）

歯の本数（問25）別にみると、「はい」は20～27本ある人で66.5%と高くなっている。「いいえ」は0本の人で66.2%と高くなっている。（図13-6-2）

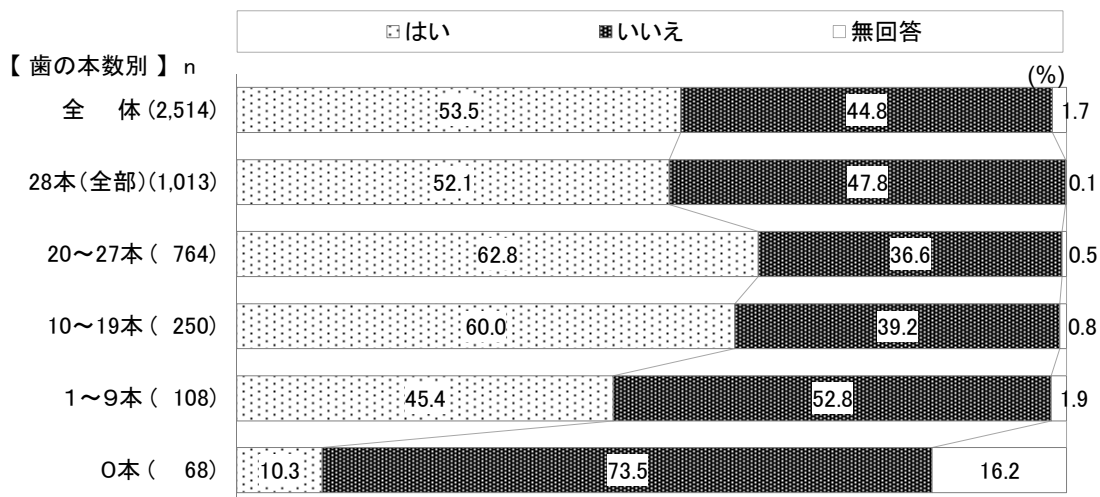
図13-6-2 最近1年間の歯の健康診査の受診状況（歯の本数別）



③ 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況（問27）

歯の本数（問25）別にみると、「はい」は20～27本ある人で62.8%と高くなっている。「いいえ」は0本の人で73.5%と高くなっている。（図13-6-3）

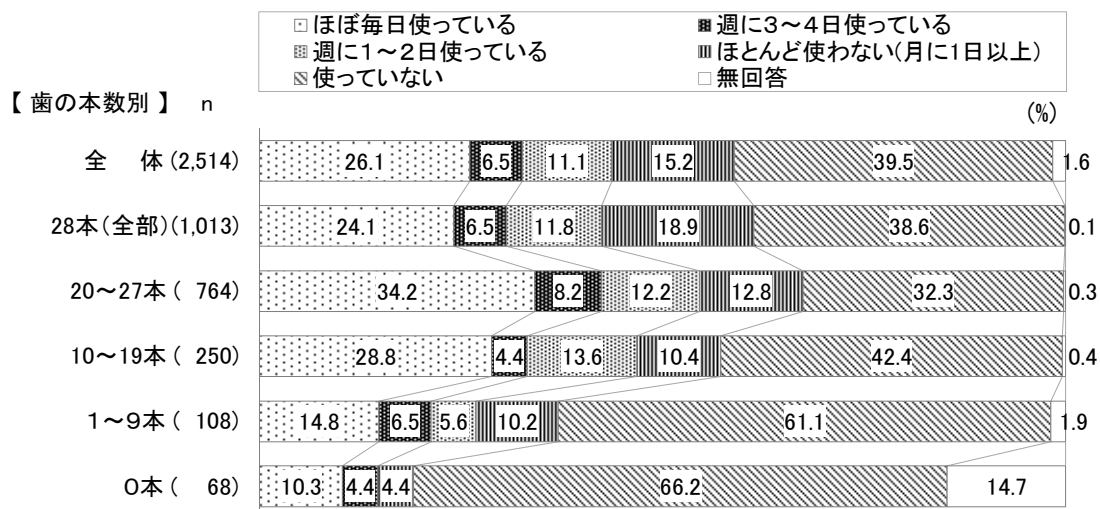
図13-6-3 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の受診状況（歯の本数別）



④ 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（問28）

歯の本数（問25）別にみると「使っていない」は0本の人で66.2%、1～9本の人で61.1%と高くなっている。（図13-6-4）

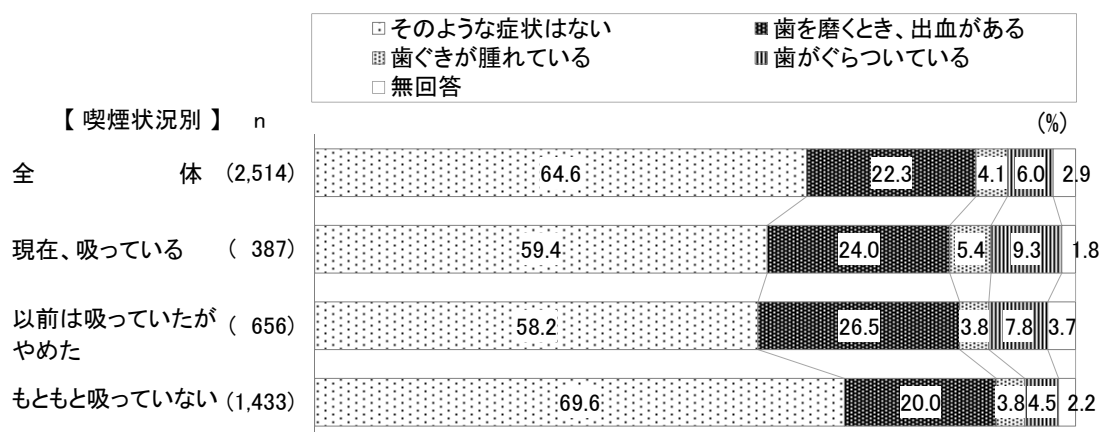
図13-6-4 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（歯の本数別）



⑤ 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（問29）

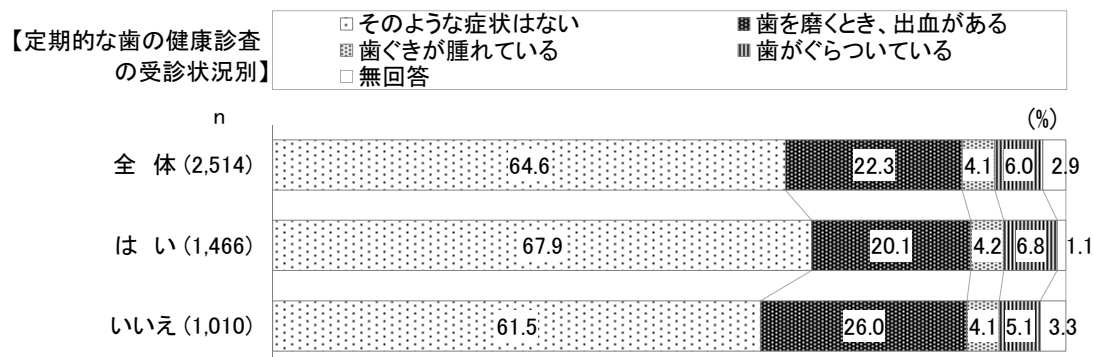
喫煙状況別（問22）別にみると、「そのような症状はない」はたばこをもともと吸っていない人で69.6%と高くなっている。（図13-6-5 4）

図13-6-5 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（喫煙状況別）



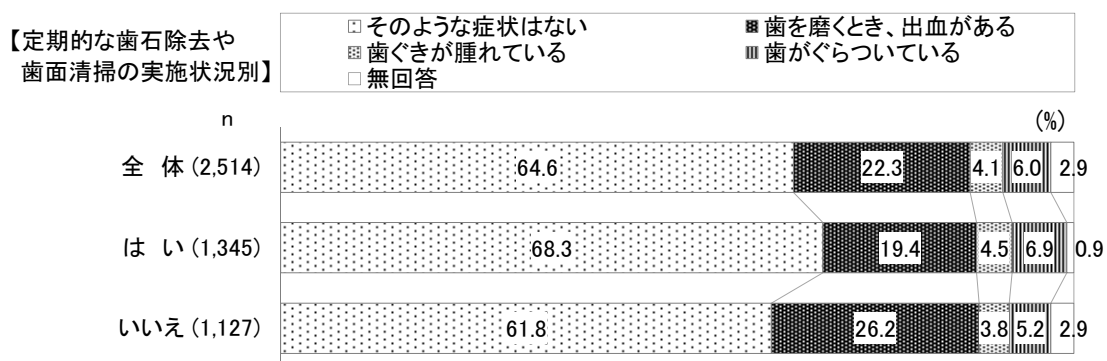
最近1年間の歯の健康診査の受診状況（問26）別にみると、「そのような症状はない」は定期的な歯の健康診査を受けている人で67.9%と高くなっている。（図13-6-6）

図13-6-6 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（最近1年間の歯の健康診査の受診状況別）



最近1年間の歯石除去や歯面清掃の受診状況（問27）別にみると、「そのような症状はない」は定期的な歯石除去や歯面清掃を受けている人で68.3%と高くなっている。（図13-6-7）

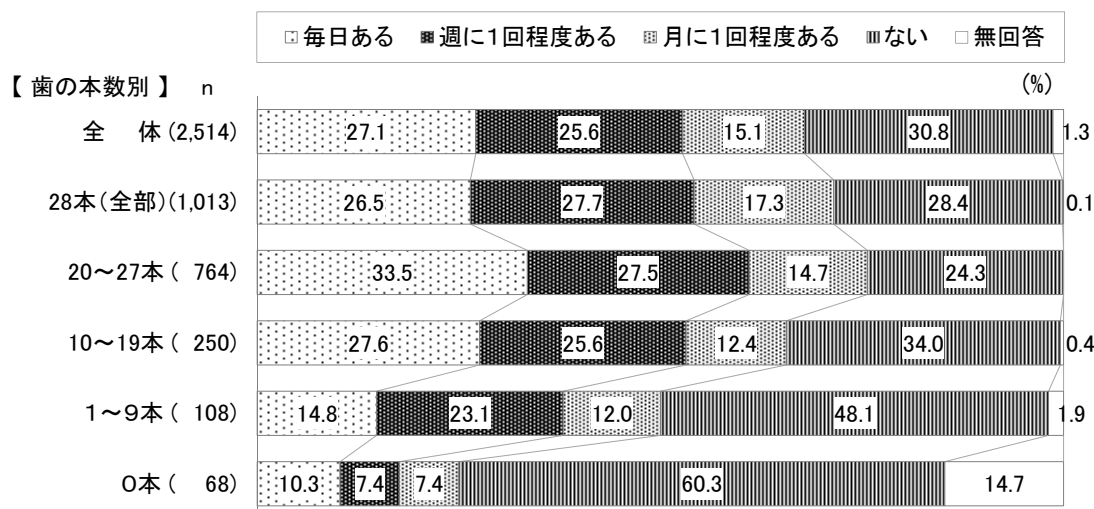
図13-6-7 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（最近1年間の歯石除去や歯面清掃の受診状況別）



⑥ 口の中を観察する習慣（問30）

歯の本数（問25）別にみると「ない」は0本の人で60.3%、1～9本の人で48.1%と高くなっている。（図13-6-8）

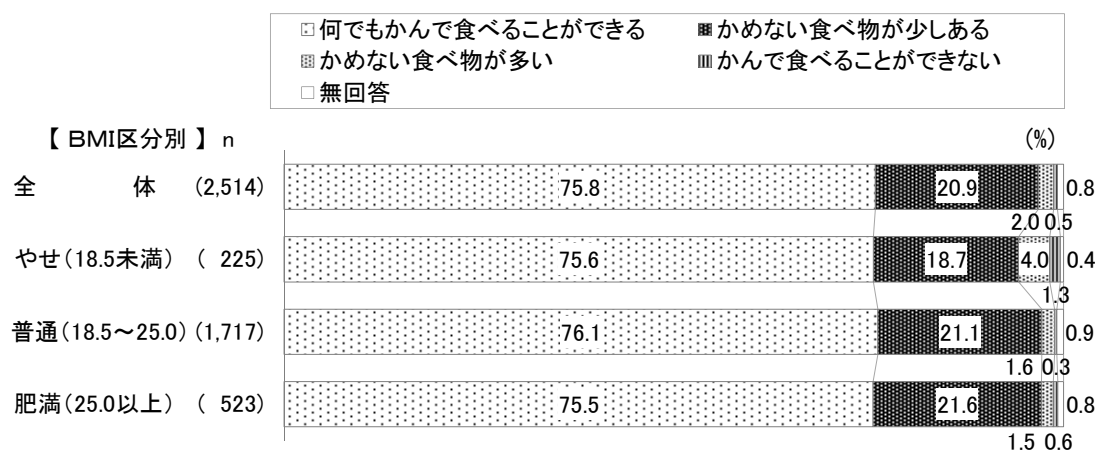
図13-6-8 口の中を観察する習慣（歯の本数別）



⑦ ものをかんで食べることができるか（問31）

BMI区分（問9ア）別にみると「かめない食べ物が少しある」はBMI区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。（図13-6-9）

図13-6-9 ものをかんで食べることができるか（BMI区分別）

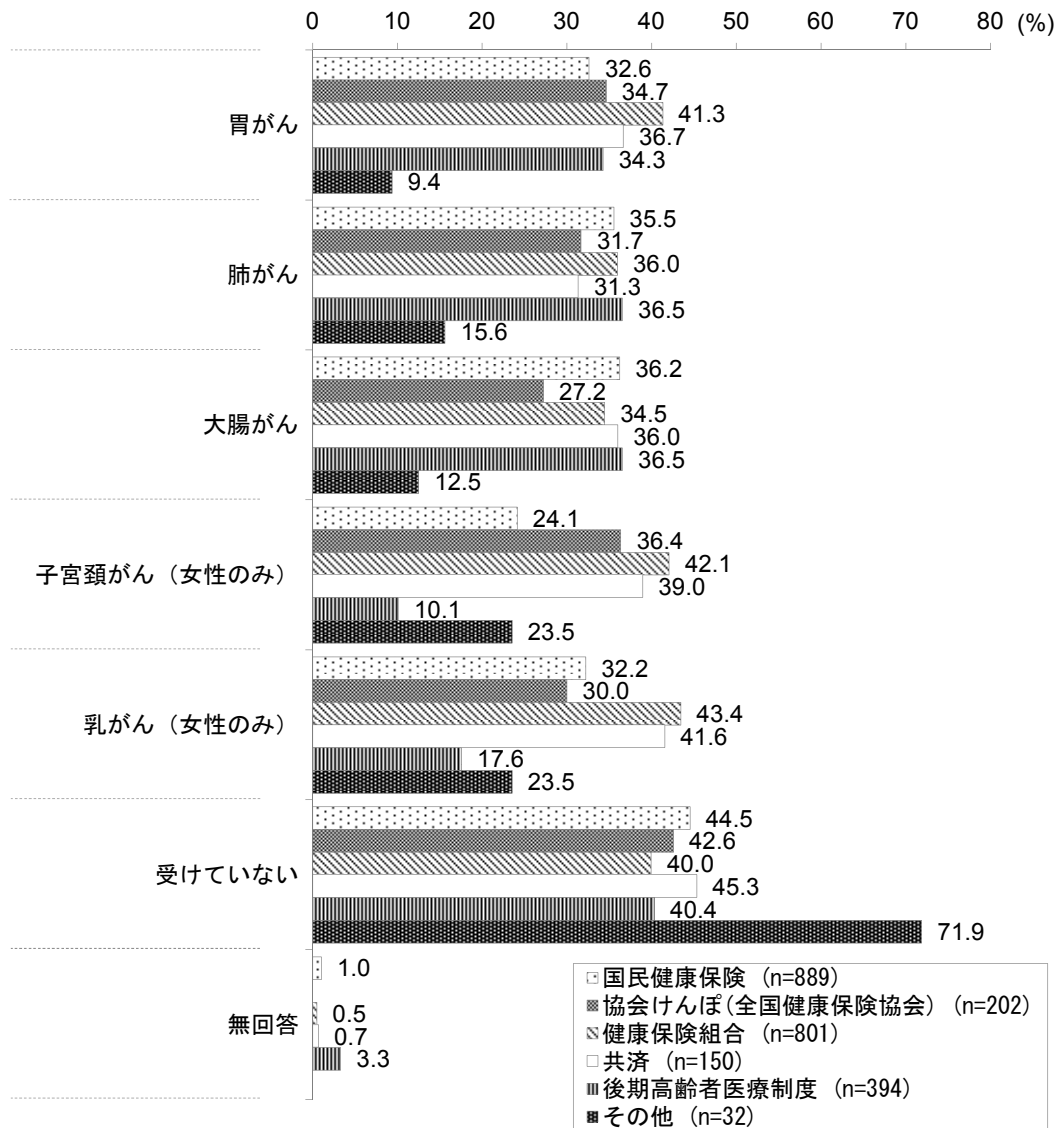


(4) がん検診

① 最近1年間のがん検診の受診状況 (問32)

健康保険種別にみると「胃がん」は健康保険組合が41.3%と高く、「子宮頸がん」も健康保険組合が22.8%、「乳がん」も健康保険組合が23.6%と高くなっている。「受けていない」は健康保険組合が40.0%、後期高齢者医療制度が40.4%で低くなっている。(図13-7-1)

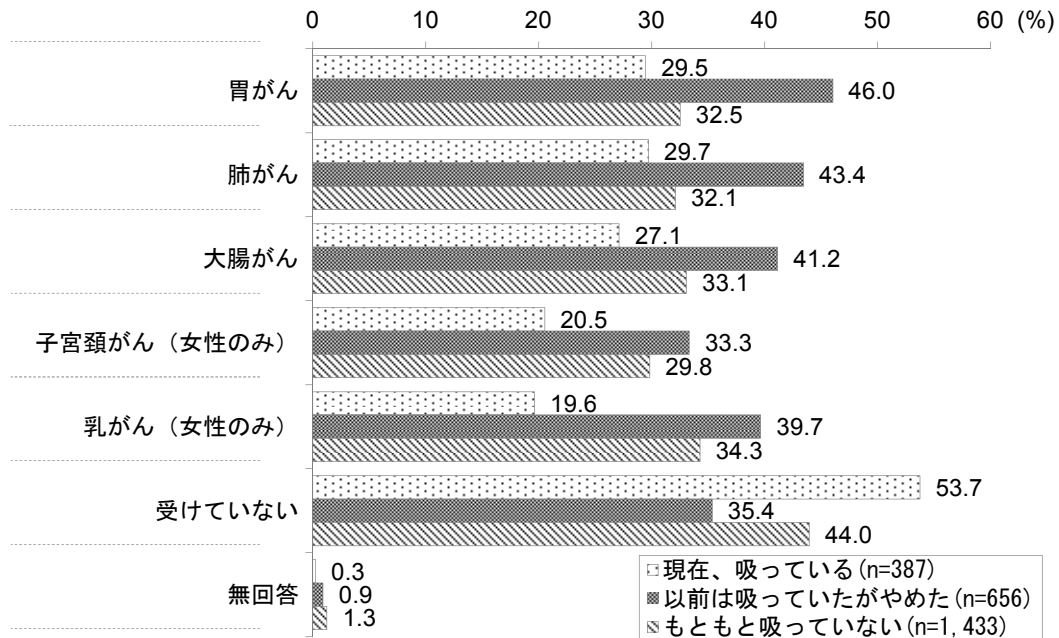
図13-7-1 最近1年間のがん検診の受診状況 (健康保険種別)



喫煙状況（問23）別にみると、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」では以前吸っていたがやめた人で割合が高くなっている。「受けていない」は現在吸っている人で53.7%と高くなっている。

（図13-7-2）

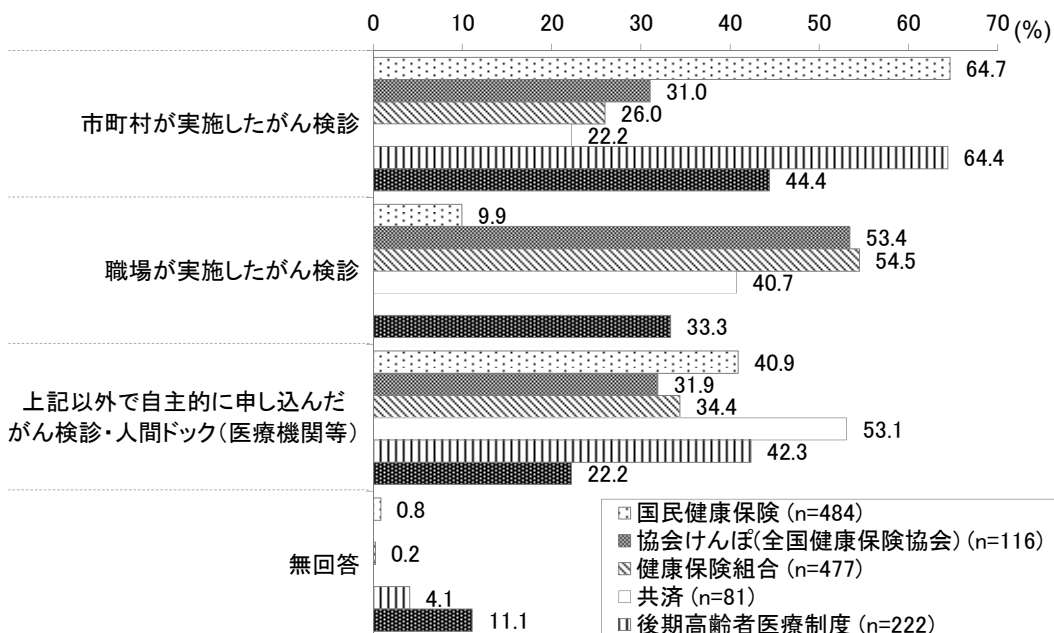
図13-7-2 最近1年間のがん検診の受診状況（喫煙状況別）



② がん検診の受診場所（問32-1）

健康保険種別にみると、「市町村が実施したがん検診」は国民健康保険で64.7%、後期高齢者医療制度で64.4%と高くなっている。「職場が実施したがん検診」は健康保険組合で54.5%、協会けんぽ（全国健康保険組合）で53.4%と高くなっている。「自主的に申し込んだがん検診・人間ドック（医療機関等）」は共済が53.1%と高くなっている。（図13-7-3）

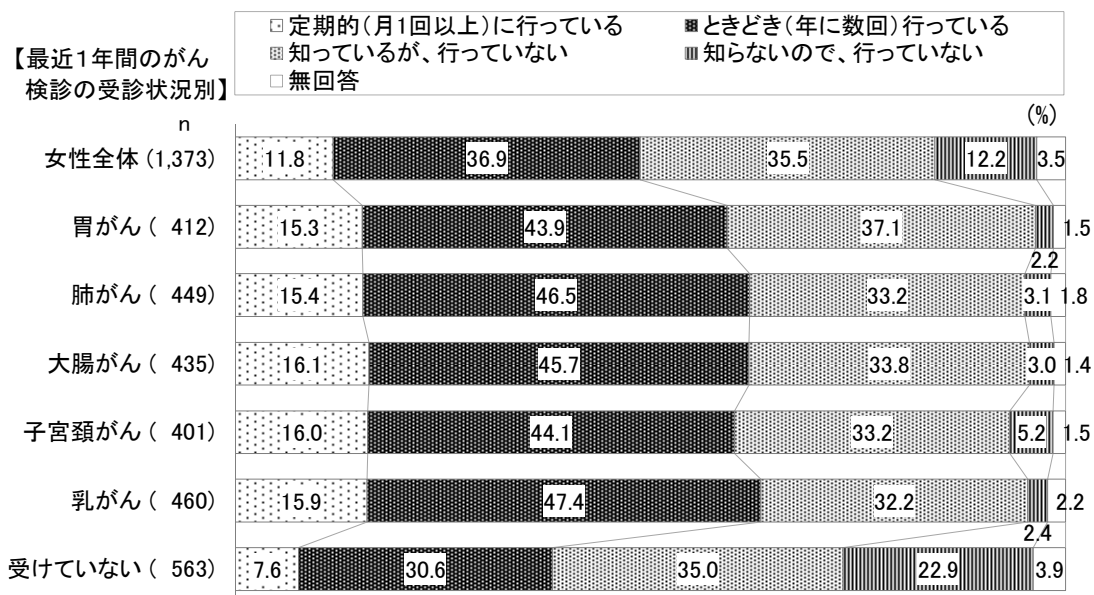
図13-7-3 がん検診の受診場所（健康保険種別別）



③ 女性の乳がんの自己触診の実施状況（問33）

最近1年間のがん検診の受診状況（問32）別にみると、「知らないので、行ってない」はがん検診を受けていない人で22.9%となっており、乳がん検診を受けている人（2.4%）より20.5ポイント高くなっている。（図13-7-4）

図13-7-4 女性の乳がんの自己触診の実施状況（最近1年間のがん検診の受診状況別）

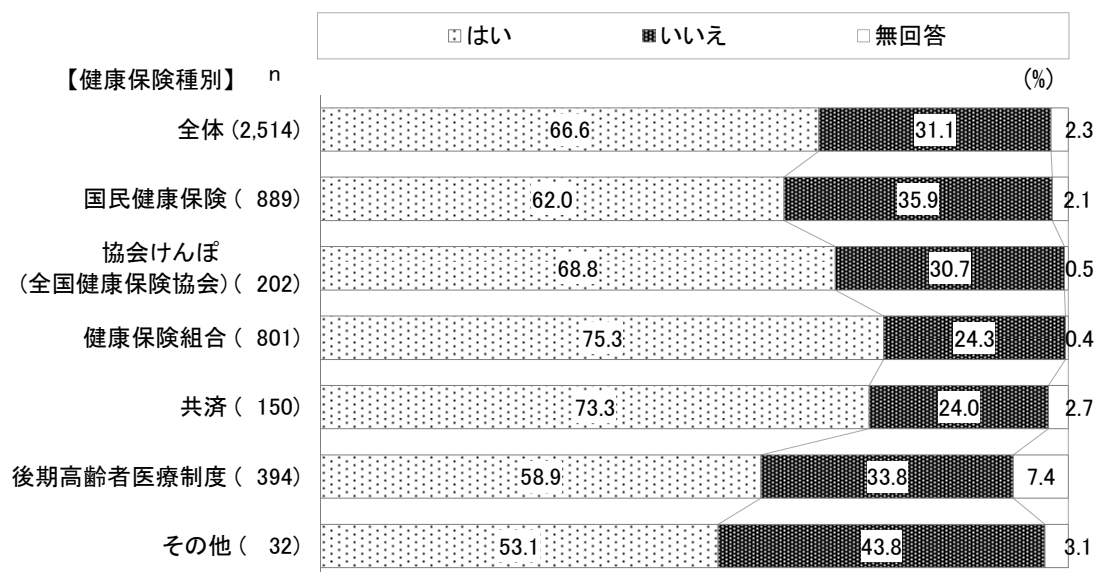


(5) 健康診断

① 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（問34）

健康保険種別にみると、「はい」は健康保険組合で75.3%、共済で73.3%と高くなっている。「いいえ」は国民健康保険で35.9%、後期高齢者医療制度で33.8%と高くなっている。（図13-8-1）

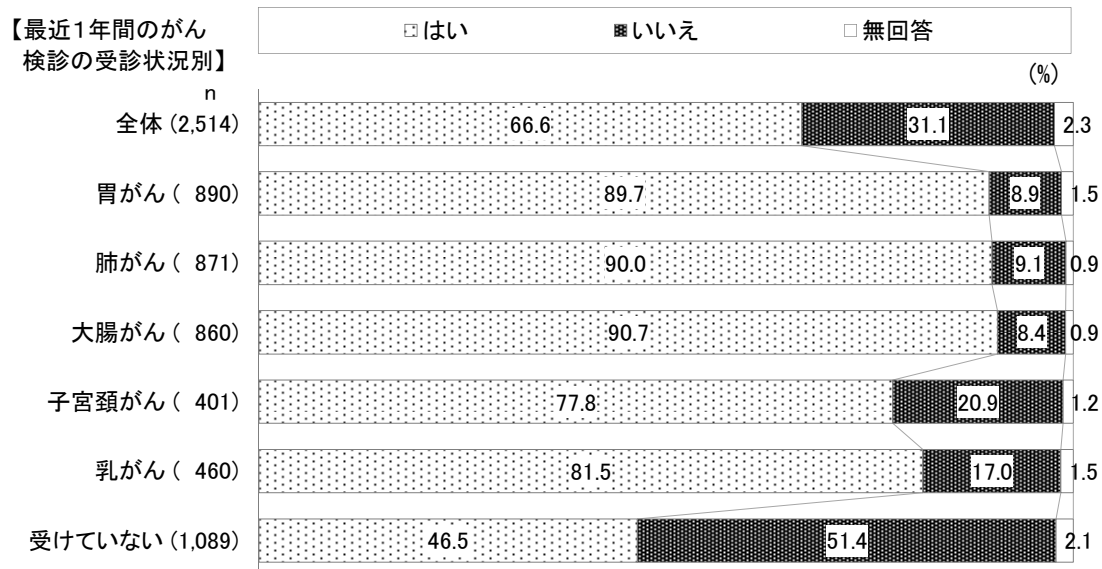
図13-8-1 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（健康保険種別）



最近1年間のがん検診受診状況（問32）別にみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で51.4%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

（図13-8-2）

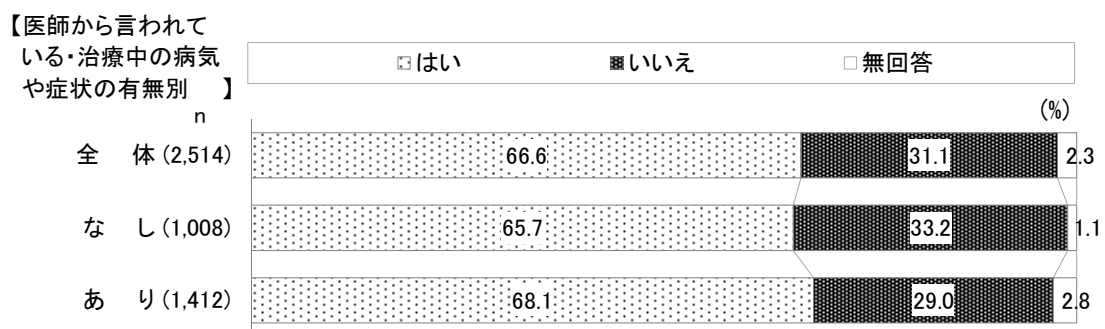
図13-8-2 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（最近1年間のがん検診受診状況別）



医師から言われている・治療中の病気や症状の有無（問36）別にみると、「はい」は病気や症状がある人で68.1%となっており、病気や症状がない人（65.7%）より2.4ポイント高くなっている。

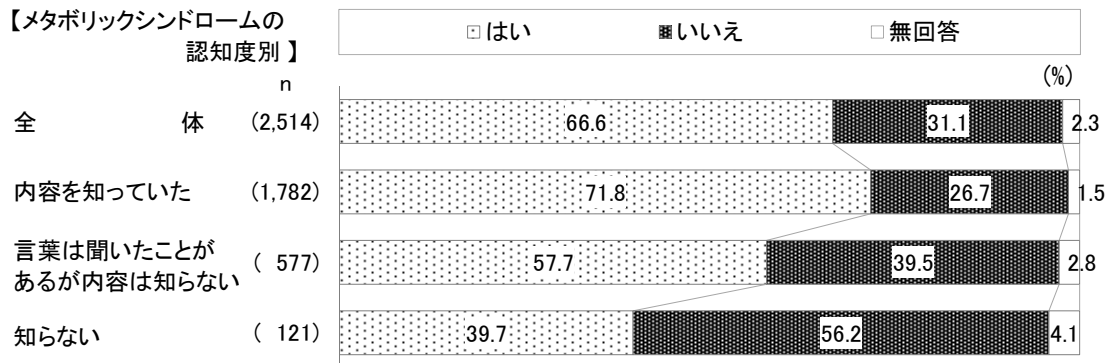
（図13-8-3）

図13-8-3 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）



メタボリックシンドロームの認知度(問37)別にみると、「はい」は内容を知っていた人で71.8%、言葉は聞いたことがあるが内容は知らない人で57.7%となっており、知らない人(39.7%)に比べて高くなっている。(図13-8-4)

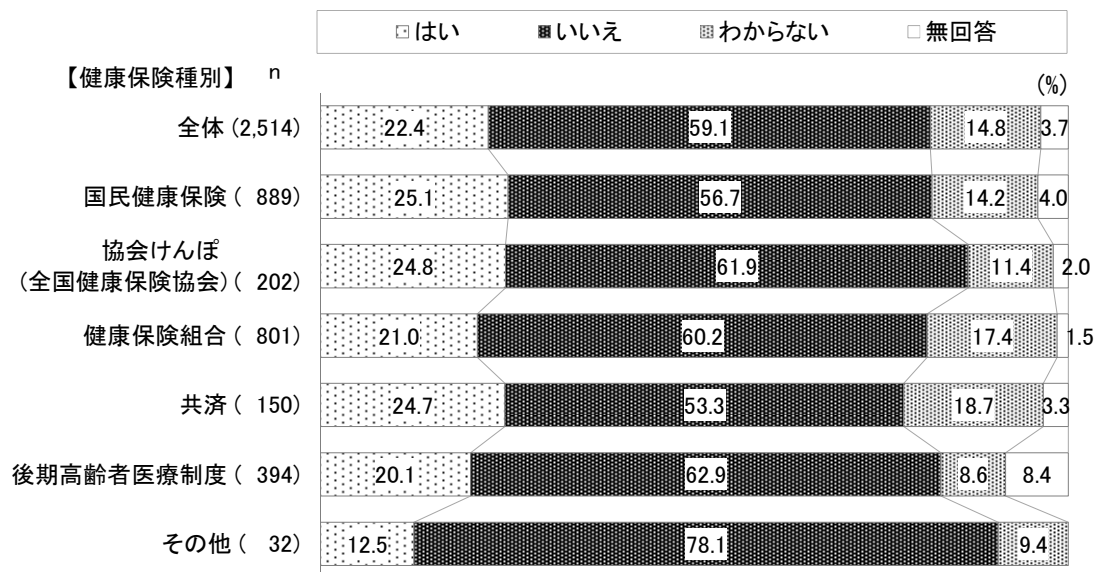
図13-8-4 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況(メタボリックシンドロームの認知度別)



② 肝炎ウイルス検査受診状況(問35)

健康保険種別にみると、「はい」はそれぞれ2割台となっている。(図13-8-5)

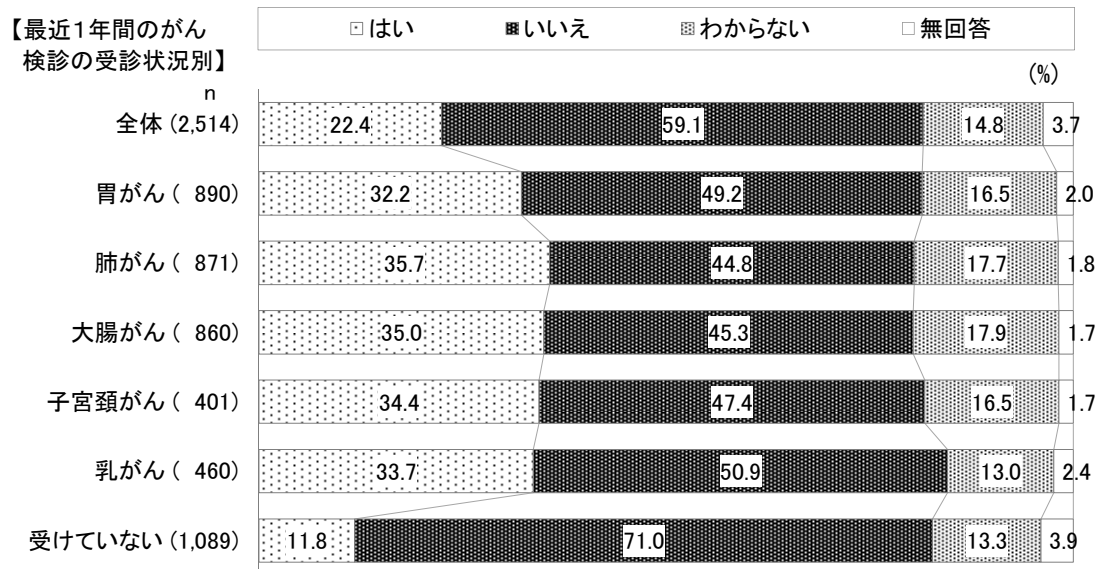
図13-8-5 肝炎ウイルス検査受診状況(健康保険種別)



最近1年間のがん検診受診状況（問32）別にみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で71.0%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

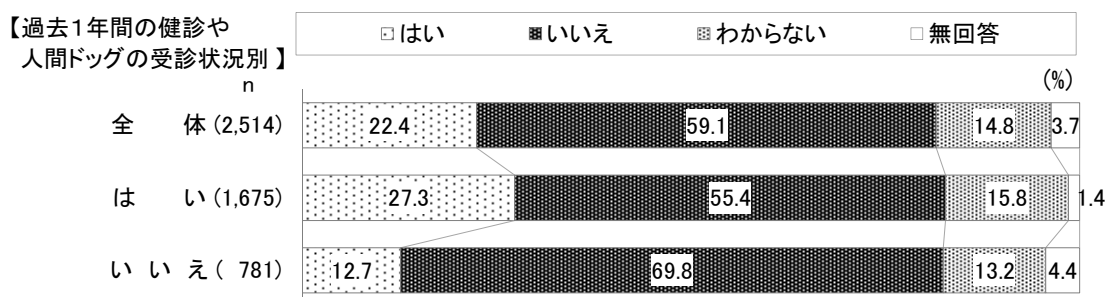
（図13-8-6）

図13-8-6 肝炎ウイルス検査受診状況（最近1年間のがん検診受診状況別）



過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（問34）別にみると、「はい」は健診や人間ドッグを受けた人で27.3%となっており、健診や人間ドッグを受けていない人（12.7%）より14.6ポイント高くなっている。（図13-8-7）

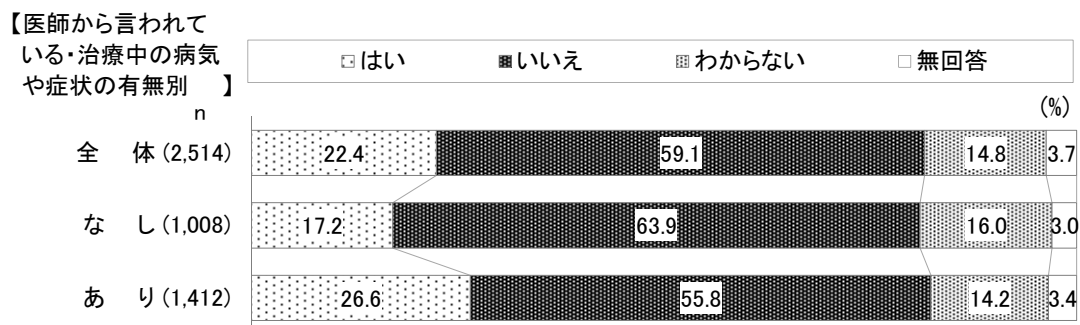
図13-8-7 肝炎ウイルス検査受診状況（過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況別）



医師から言われている・治療中の病気や症状の有無（問36）別にみると、「はい」は病気や症状がある人で26.6%となっており、病気や症状がない人（17.2%）より9.4ポイント高くなっている。

（図13-8-8）

図13-8-8 肝炎ウイルス検査受診状況（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）

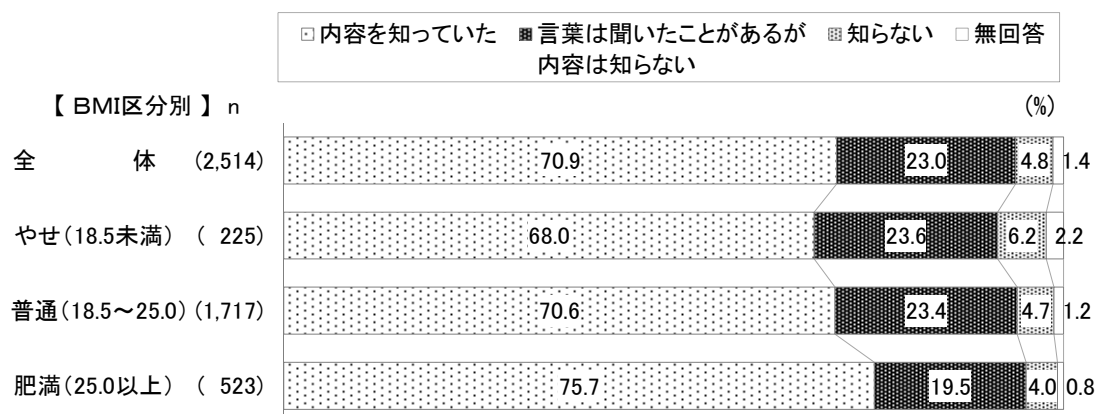


（6）健康に関する情報

① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度（問37）

BMI区分（問9ア）別にみると、「内容を知っていた」はBMI区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。（図13-9-1）

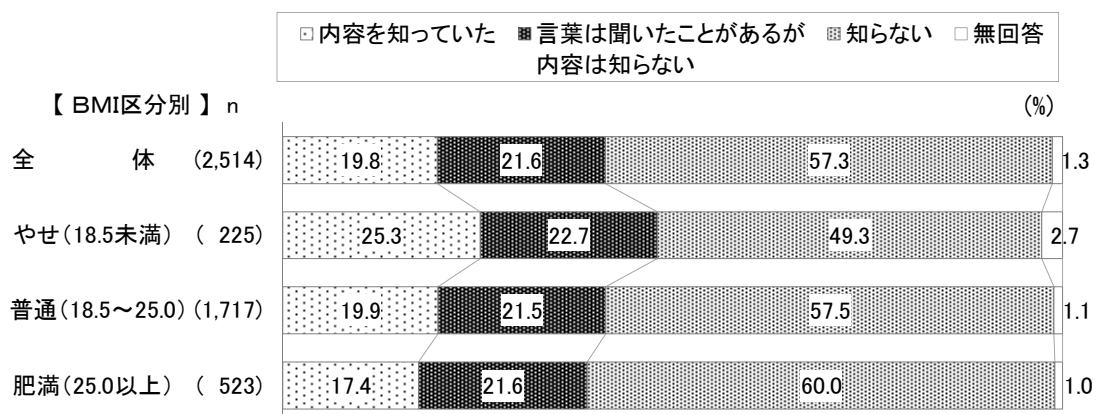
図13-9-1 メタボリックシンドロームの認知度（BMI区分別）



② ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（問38）

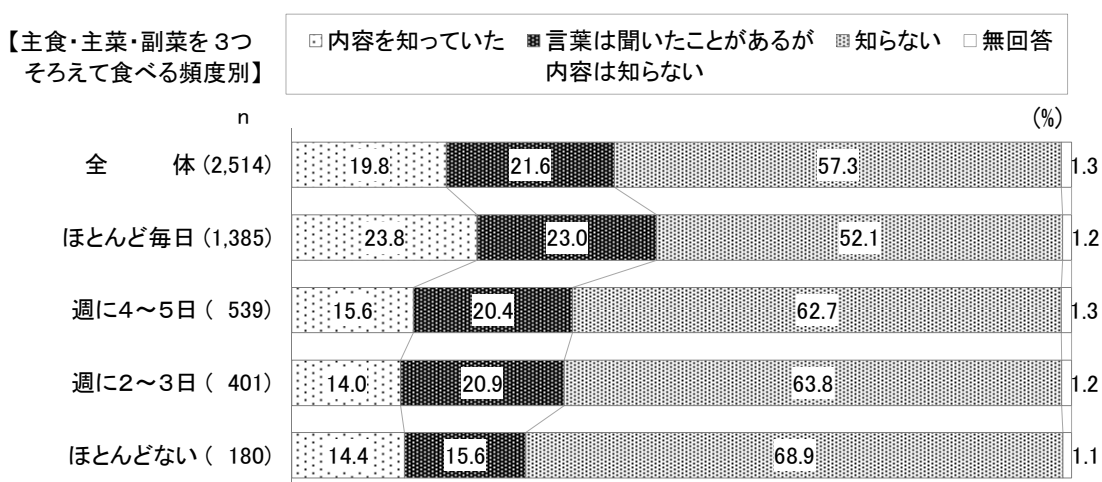
BMI区分（問9ア）別にみると、「知らない」はBMI区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。（図13-9-2）

図13-9-2 ロコモティブシンドロームの認知度（BMI区分別）



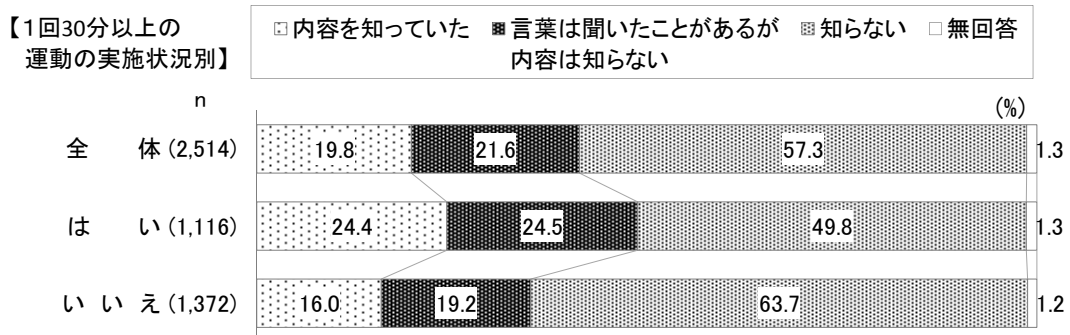
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問13）別にみると、「内容を知っていた」はほとんど毎日食べる人で23.8%と高くなっている。（図13-9-3）

図13-9-3 ロコモティブシンドロームの認知度（主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度別）



1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況（問16）別にみると、「知らない」は運動をしていない人で63.7%となっており、運動をしている人（49.8%）より13.9ポイント高くなっている。（図13-9-4）

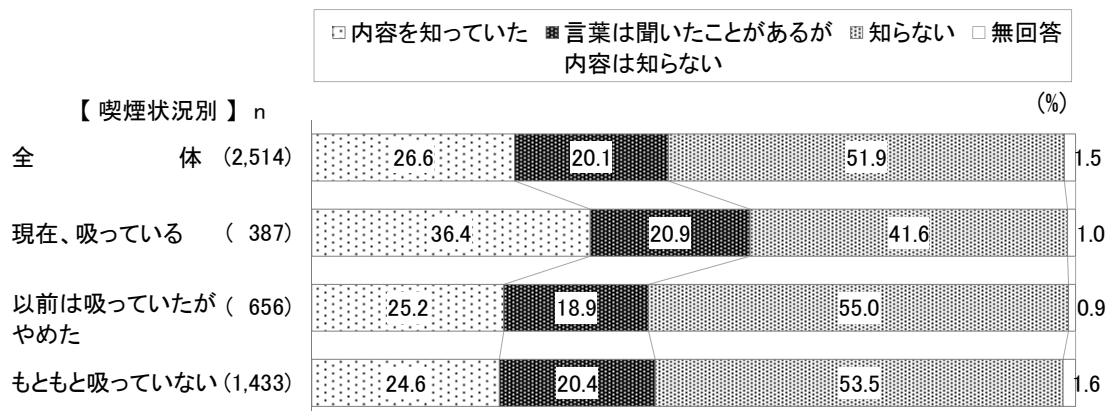
図13-9-4 ロコモティブシンドロームの認知度
（1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況別）



③ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（問39）

喫煙状況（問22）別にみると、「内容を知っていた」は現在吸っている人で36.4%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて高くなっている。（図13-9-5）

図13-9-5 COPDの認知度（喫煙状況別）

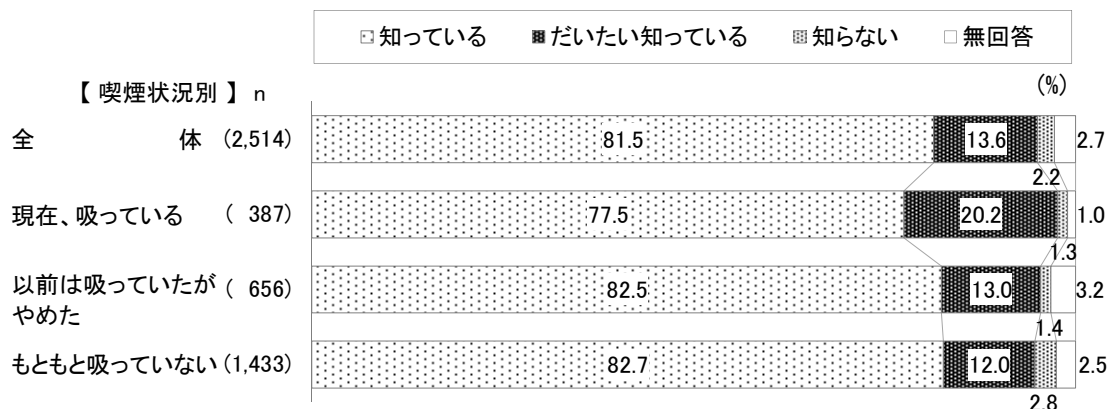


(10) 受動喫煙の防止

① 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（問40）

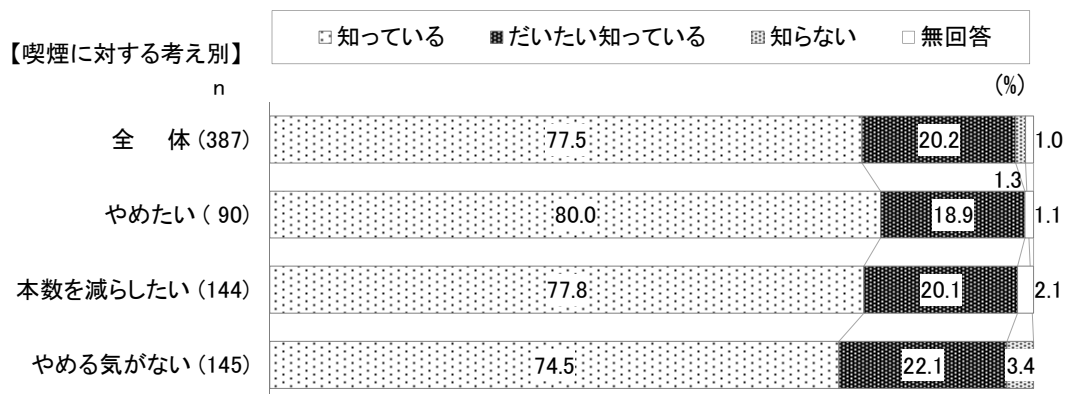
喫煙状況（問22）別にみると、「知っている」はもともと吸っていない人で82.7%、以前は吸っていたがやめた人で82.5%となっており、現在吸っている人（77.5%）に比べて割合がやや高くなっている。（図13-10-1）

図13-10-1 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙状況別）



喫煙に対する考え（問22-2）別にみると、「知っている」はたばこをやめたい人で80.0%となっており、本数を減らしたい人、やめる気がない人に比べて高くなっている。（図13-10-2）

図13-10-2 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙に対する考え別）

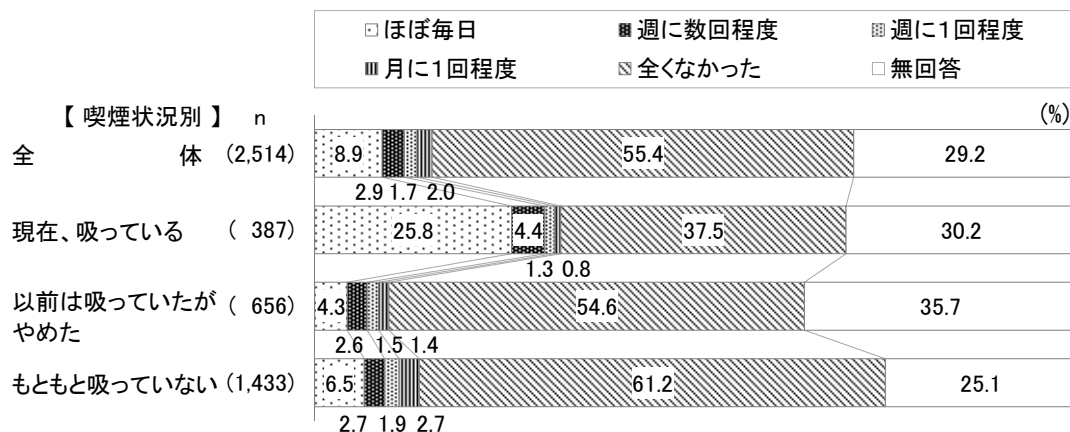


② 受動喫煙があった場所（問41）

ア 家庭（問41ア）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で25.8%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-3）

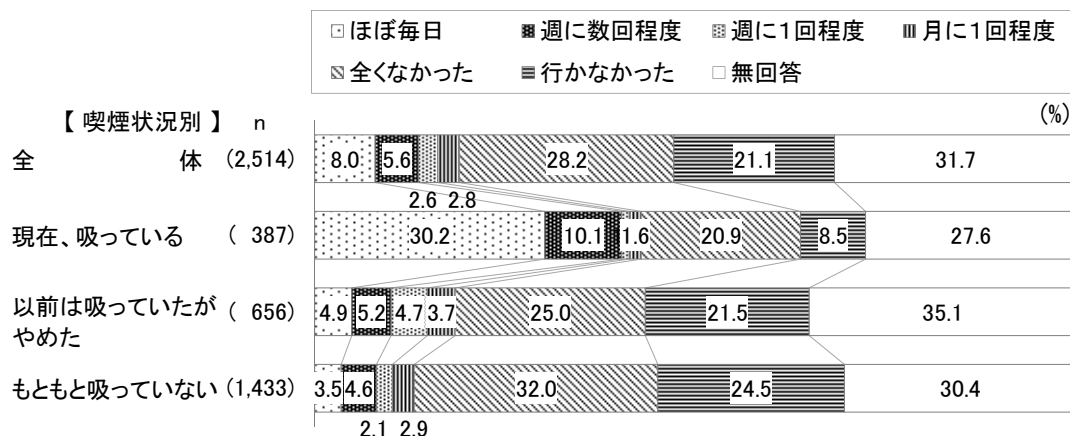
図13-10-3 受動喫煙があった場所 ア 家庭（喫煙状況別）



イ 職場（問41イ）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で30.2%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-4）

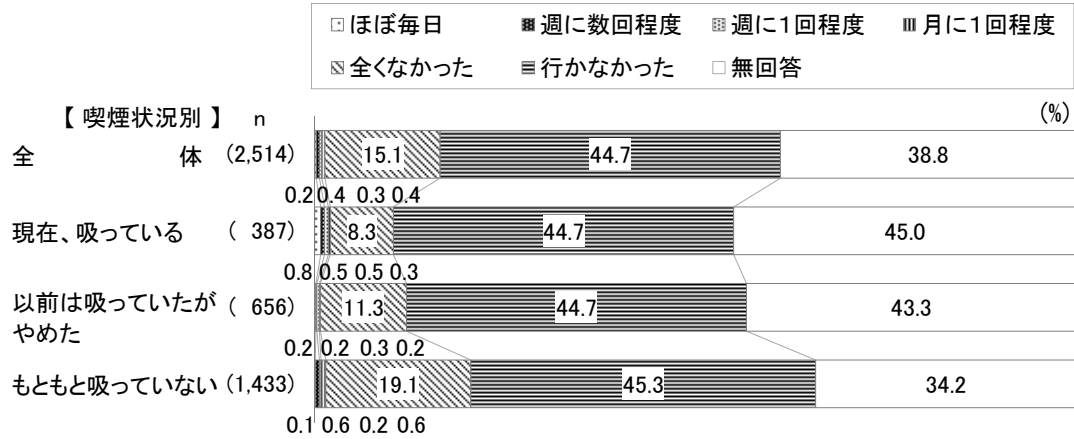
図13-10-4 受動喫煙があった場所 イ 職場（喫煙状況別）



ウ 学校（問41ウ）

喫煙状況（問22）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-5）

図13-10-5 受動喫煙があった場所 ウ 学校（喫煙状況別）

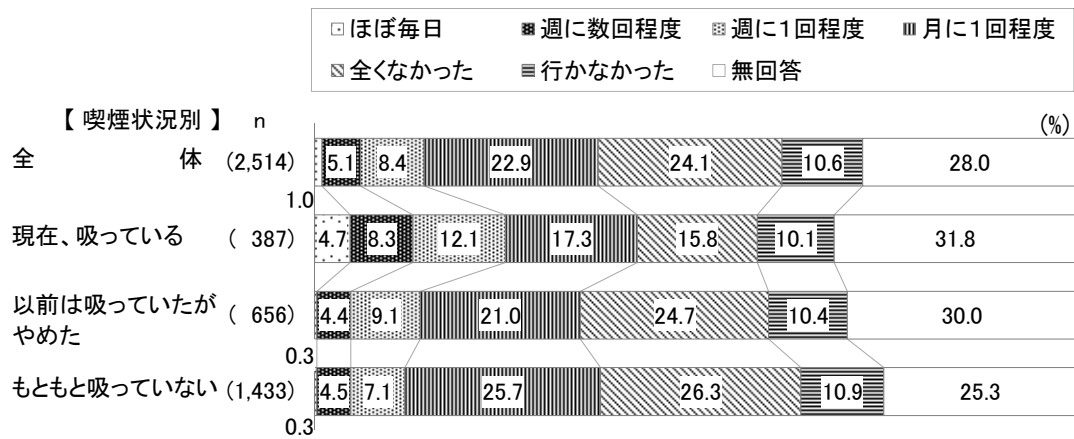


エ 飲食店（問41エ）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、現在吸っている人の割合がやや高くなっている。

（図13-10-6）

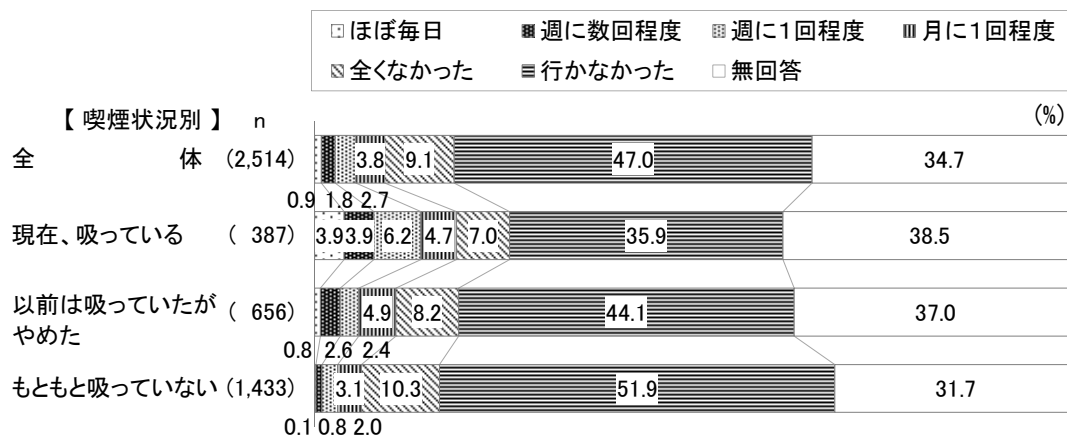
図13-10-6 受動喫煙があった場所 エ 飲食店（喫煙状況別）



オ 遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬など）（問41オ）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、現在吸っている人で18.7%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-7）

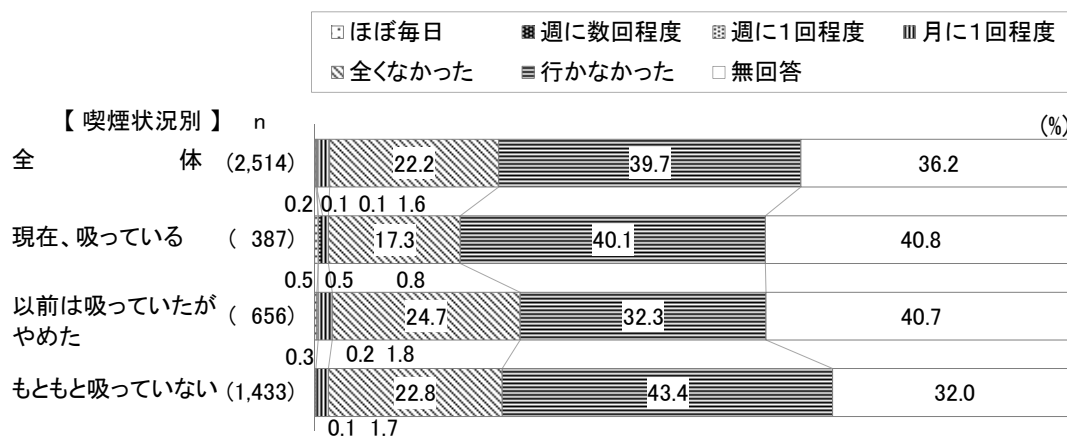
図13-10-7 受動喫煙があった場所 オ 遊技場（喫煙状況別）



カ 行政機関（市役所、役場など）（問41カ）

喫煙状況（問22）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-8）

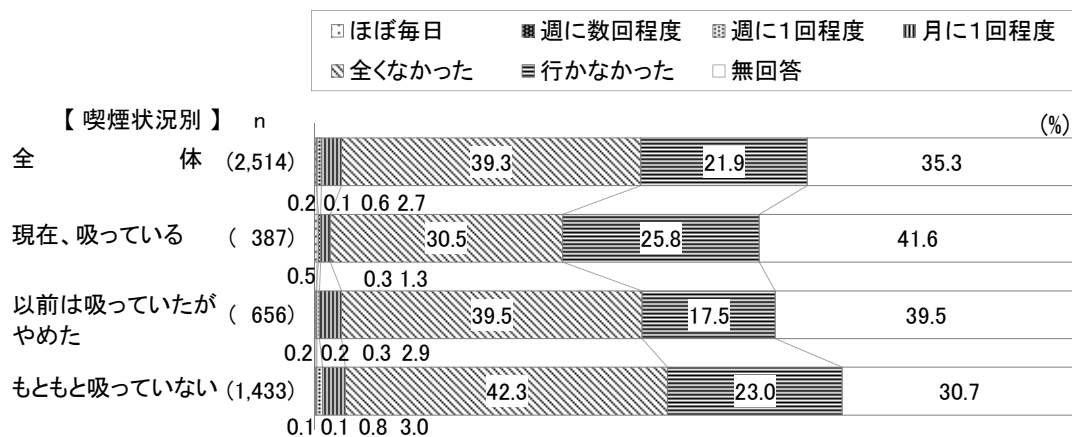
図13-10-8 受動喫煙があった場所 カ 行政機関（喫煙状況別）



キ 医療機関（問41キ）

喫煙状況（問22）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-9）

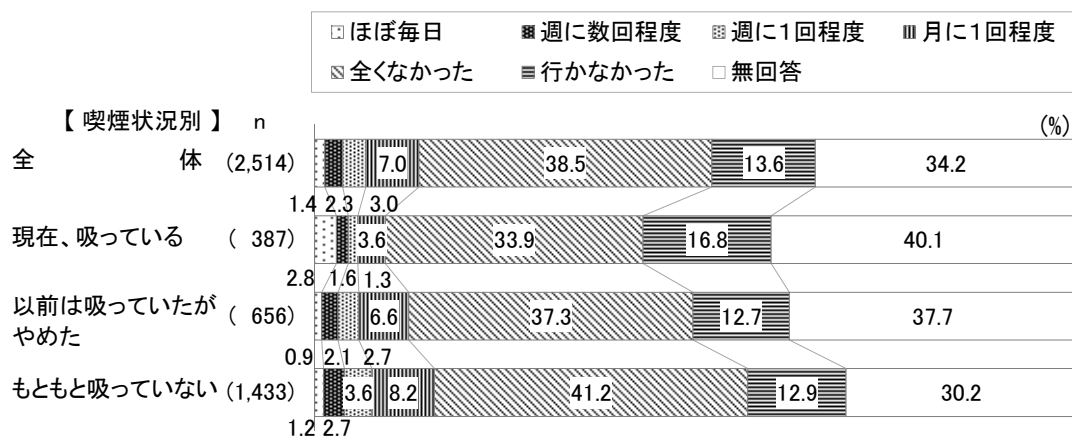
図13-10-9 受動喫煙があった場所 キ 医療機関（喫煙状況別）



ク 公共交通機関（問41ク）

喫煙状況（問22）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、もともと吸っていない人で15.7%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-10）

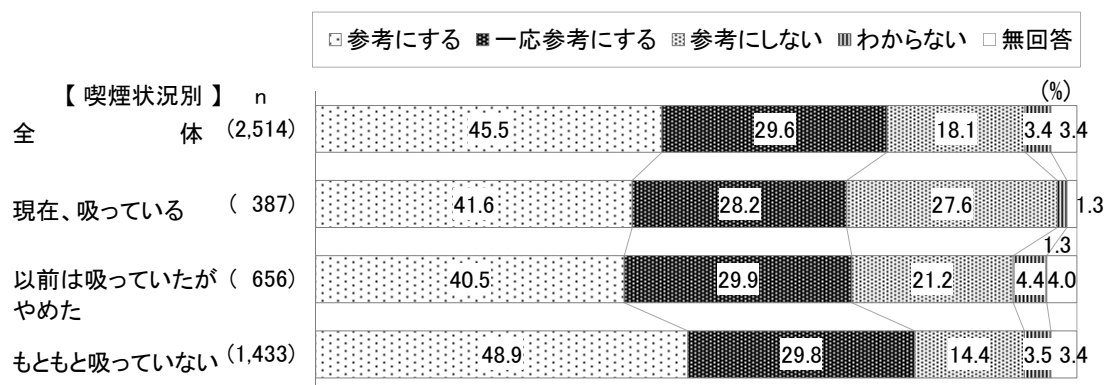
図13-10-10 受動喫煙があった場所 ク 公共交通機関（喫煙状況別）



③ 飲食店選択時に禁煙等の表示を参考にするか（問42）

喫煙状況（問22）別にみると、「参考にする」は、もともと吸っていない人で48.9%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-11）

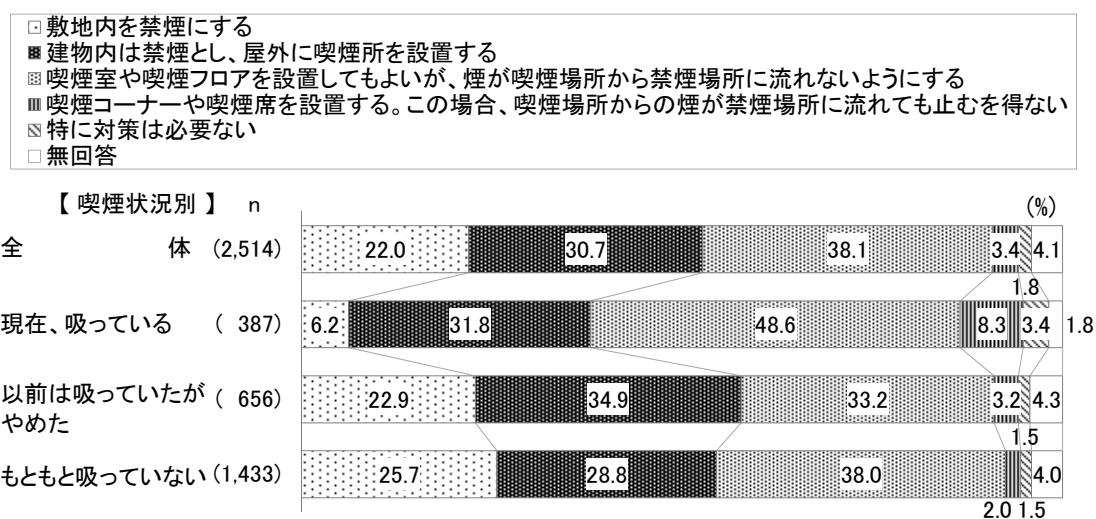
図13-10-11 飲食店選択時に禁煙等の表示を参考にするか（喫煙状況別）



④ 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止策（問43）

喫煙状況（問22）別にみると、「敷地内を禁煙にする」は、もともと吸っていない人で25.7%、以前は吸っていたがやめた人で22.9%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「喫煙室や喫煙フロアを設置してもよいが、煙が喫煙場所から禁煙場所に流れないようにする」は、現在吸っている人で48.6%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-12）

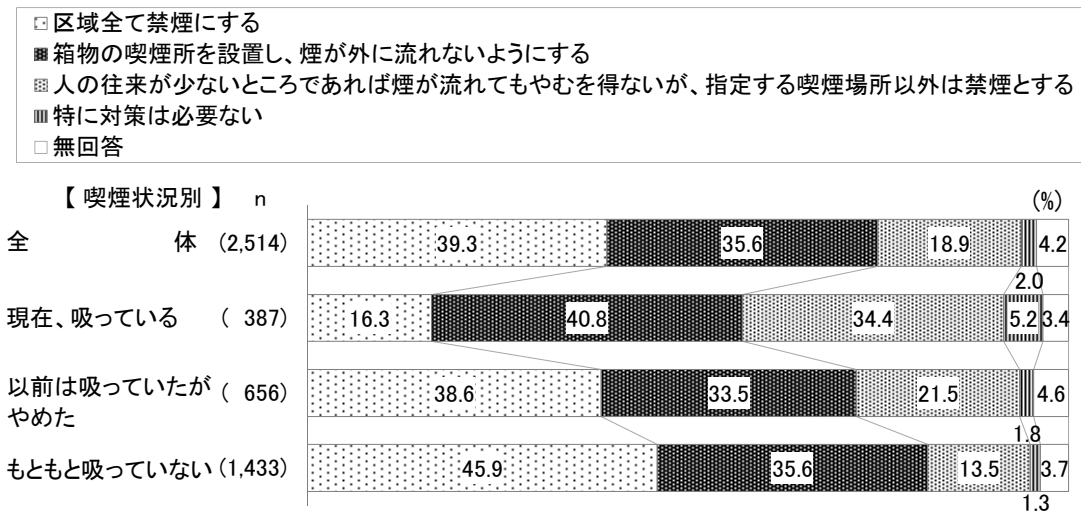
図13-10-12 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止策（喫煙状況別）



⑤ 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止策（問44）

喫煙状況（問22）別にみると、「区域全て禁煙にする」は、もともと吸っていない人で45.9%、以前は吸っていたがやめた人で38.6%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「人の往来が少ないところであれば煙が流れてもやむを得ないが、指定する喫煙場所以外は禁煙とする」は、現在吸っている人で34.4%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-13）

図13-10-13 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止策（喫煙状況別）

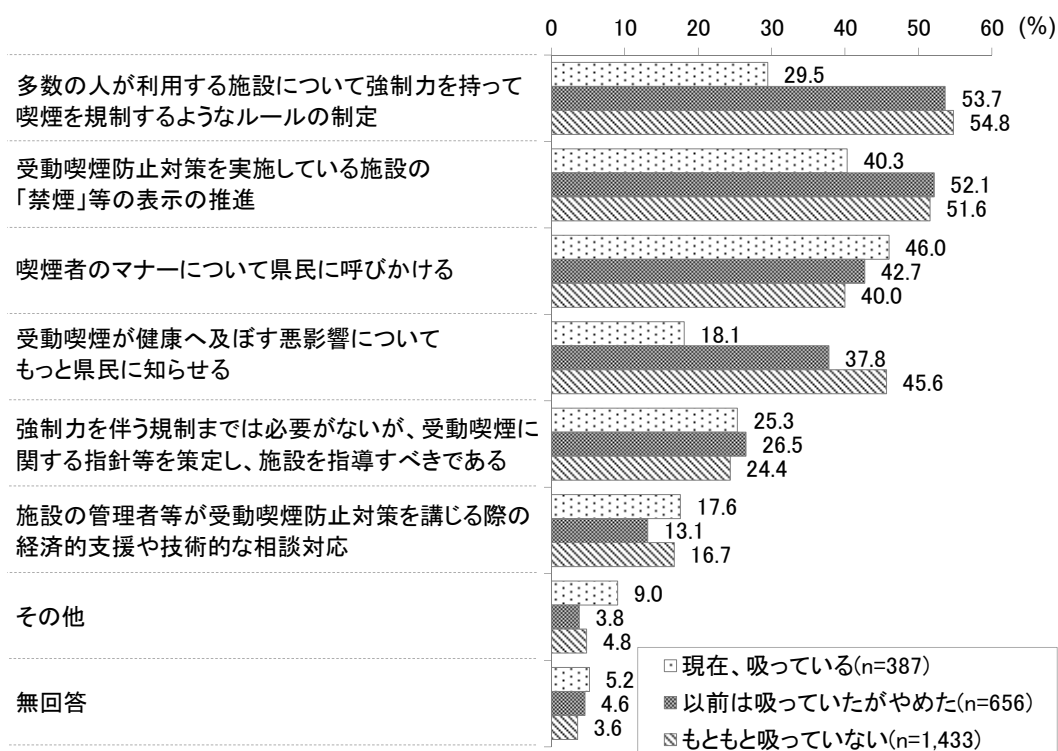


⑥ 受動喫煙を防止するために千葉県に望むこと（問45）

喫煙状況（問22）別にみると、「多数の人が利用する施設について強制力を持って喫煙を規制するようなルールを制定」は、もともと吸っていない人で54.8%、以前は吸っていたがやめた人で53.7%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「受動喫煙が健康へ及ぼす悪影響についてもっと県民に知らせる」も、もともと吸っていない人で45.6%、以前は吸っていたがやめた人で37.8%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。

（図13-10-14）

図13-10-14 受動喫煙を防止するために千葉県に望むこと（喫煙状況別）



⑦ 建物内禁煙としてほしい施設（問45）

喫煙状況（問22）別にみると、「食堂・レストラン・喫茶店等の食事提供が主な飲食店」はもともと吸っていない人で67.6%、以前は吸っていたがやめた人で57.8%となっており、現在吸っている人に比べて特に割合が高くなっている。それ以外でも、「その他」、「無回答」以外のすべての項目で、以前は吸っていたがやめた人やもともと吸っていない人は、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-15）

図13-10-15 建物内禁煙としてほしい施設（喫煙状況別）

